

第 12 章 資料編

12.1 陸上植物調査資料

12.1.1 植生調査票

植生調査票(1)～(12)を示す。

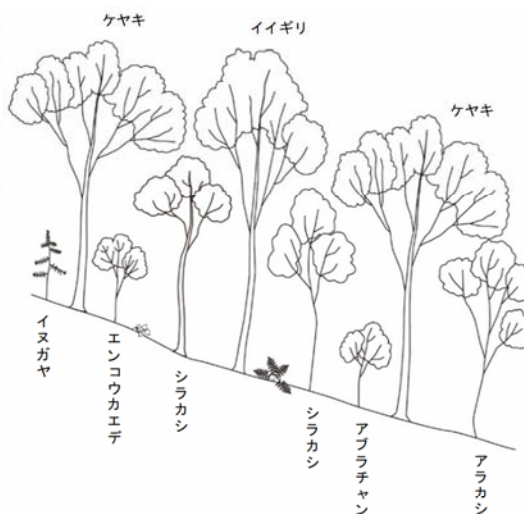
植生調査票(1)

調査地： 山梨県南巨摩郡南部町
 (地 形) 山頂：尾根 斜面：上 中・下・凹・凸：谷：平地
 ボド性 褐森 赤・黄・黄褐森・アンド・グライ
 (土 壤) 擬グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層
 固岩層・水面下・黒ボク・その他

(風 当) 強・中 弱
 (日 当) 陽 中陰 陰
 (土 湿) 乾・適・湿・過湿
 (面 積) 20 × 20 m²
 (海 抜) 404 m

(傾斜方向) S83° W
 (傾 斜 度) 23 °
 (北 緯) 35° 12' 15.3"
 (東 経) 138° 27' 26.9"
 (出現種数) 29 種

(階 層)	(優 占 種)	(高さm)	(植被率%)
I 高木層(T1)	ケヤキ	10 ~ 23	90
II 亜高木層(T2)	シラカシ	6 ~ 10	80
III 低木層(S1)	イヌガヤ	1 ~ 6	50
	(S2)	~	
IV 草本層(H1)	-	0 ~ 1	<5
	(H2)	~	
V コケ層(M)		~	



群落名： シラカシ・ケヤキ群落(ケヤキ群落)

調査日： 2019.10.30

階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名
I	4・4	ケヤキ	III	1・2	イヌガヤ			
	2・1	イイギリ		1・1	エンコウカエテ			
	1・2	シラカシ		1・1	アラカシ			
	1・1	スキ		+	アカシテ			
	1・1	イヌシテ		+	ツルクミ			
	+	ツタ		+	アブラチャン			
	+	ノキシノブ		+	イロハモミジ			
		+	ノキシノブ					
II	4・4	シラカシ	IV	+	イヌガヤ			
	1・2	アラカシ		+	ネムノキ			
	1・1	スキ		+	シラカシ			
	+	タブノキ		+	クサツボスミレ			
	+	エトヒカン		+	ヤブタビラコ			
	+	クマシテ		+	ココメウツキ			
	+	エンコウカエテ		+	アラカシ			
	+	テイカカスラ		+	フテリントウ			
	+	ホオノキ		+	クマワラビ			
	+	ヤブニッケイ		+	スキ			
	+	シロタモ		+	タブノキ			
	+	イロハモミジ		+	コチミササ			
	+	ケヤキ		+	コナシ			
+	ノキシノブ	+	ノキシノブ					

注) S : 階層 (stratum)
 D・S : 優占度 (dominance) ・ 群度 (sociability)
 S P P : 種名

植生調査票(2)

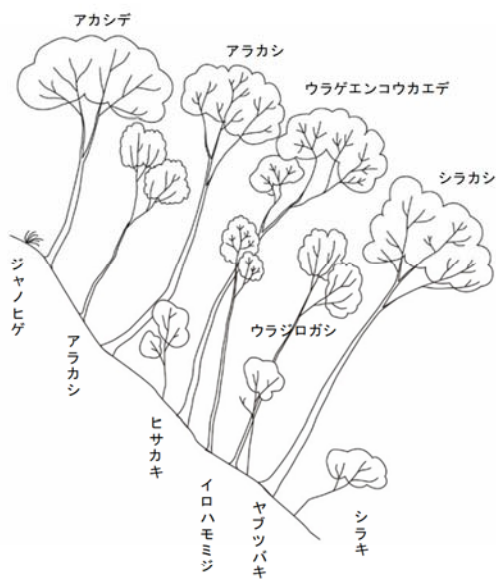
調査地： 山梨県南巨摩郡南部町

(地 形) 山頂：尾根(斜面：上) 中・下・凹・凸：谷：平地
ポド性 褐森 赤・黄・黄褐森・アンド・グライ

(土 壤) 擬グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層
固岩層・水面下・黒ボク・その他

(風 当) 強 中 弱	(傾斜方向) N30° E
(日 当) 陽・中陰 陰	(傾 斜 度) 59°
(土 湿) 乾・適・湿・過湿	(北 緯) 35° 12' 44.3"
(面 積) 10 × 15 m ²	(東 経) 138° 27' 45.1"
(海 抜) 283 m	(出現種数) 19 種

(階 層)	(優 占 種)	(高さm)	(植 被 率%)
I 高木層(T1)	アカシデ	10 ~ 19	80
II 亜高木層(T2)	ウラジロカシ	3 ~ 10	50
III 低木層(S1)	ヤブツバキ	1 ~ 3	<5
	(S2)	~	
IV 草本層(H1)	—	0 ~ 1	<1
	(H2)	~	
V コケ層(M)	~	~	



群落名： シラカシ・ケヤキ群落(アカシデ群落)

調査日： 2019.10.25

階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名
I	2・2	アカシデ	IV	+	シラカシ			
	2・2	ウラゲエンコウカエデ		+	マメツク			
	2・2	シラカシ		+	ヤブツバキ			
	1・1	ヤマザクラ		+	イロハモミジ			
	1・1	アラカシ		+	アズマネザサ			
			+	テイカスラ				
			+	シュラン				
			+	アカシデ				
			+	ジャノヒゲ				
			+	ウリカエデ				
II	1・1	ウラジロカシ	+	スゲ属sp.				
	1・1	イロハモミジ						
	1・1	アラカシ						
	1・1	シラカシ						
	1・1	アワツバキ						
	1・1	ウラゲエンコウカエデ						
	1・1	ヤブツバキ						
	+	テイカスラ						
III	1・2	ヤブツバキ						
	1・2	ヒサカキ						
	+	シラカシ						
	+	ヒノキ						
	+	イヌカヤ						

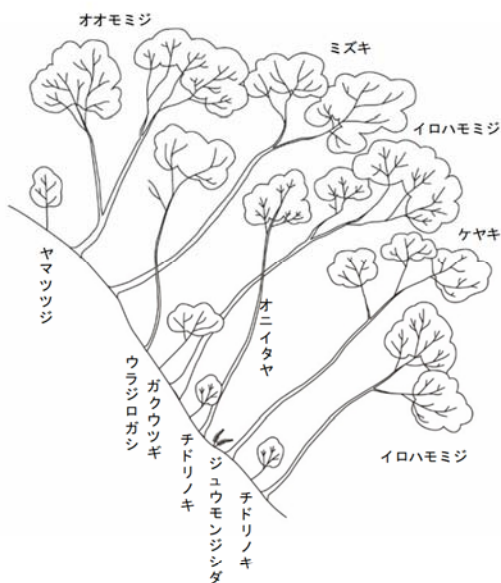
注) S : 階層 (stratum)
D・S : 優占度 (dominance) ・群度 (sociability)
S P P : 種名

植生調査票(3)

調査地： 山梨県南巨摩郡南部町
 (地 形) 山頂：尾根：斜面：上・中・下・凹・凸(谷)：平地
 ボド性(褐森)赤・黄・黄褐森・アンド・グライ
 (土 壤) 擬グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層
 固岩層・水面下・黒ボク・その他

(風 当) 強(中)弱 (傾斜方向) S24° W
 (日 当) 陽(中陰)陰 (傾 斜 度) 39°
 (土 湿) 乾・適・湿・過湿 (北 緯) 35° 11' 14.6"
 (面 積) 10 × 20 m² (東 経) 138° 27' 33.0"
 (海 抜) 518 m (出現種数) 47 種

(階 層)	(優 占 種)	(高さm)	(植 被 率%)
I 高木層(T1)	ミズキ	16 ~ 22	80
II 亜高木層(T2)	オオモミジ	9 ~ 13	70
III 低木層(S1)	チドリノキ	3 ~ 6	20
	(S2)	~	
IV 草本層(H1)	なし	0 ~ 1	<1
	(H2)	~	
V コケ層(M)		~	



群落名： ミズキ・イロハモミジ群落

調査日： 2019.10.25

階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名
I	4・4	ミズキ	IV	+	イトラノオ	IV	+	チャボイノテ
	1・1	イロハモミジ		+	ヒメウツギ		+	キンレイカ
	1・1	ケヤキ		+	タチキランソウ		+	アキノキリンソウ
	1・1	コナラ		+	チドリノキ		+	オオハノイノモトソウ
	1・1	カラスザンショウ		+	コクサギ		+	イワガラミ
			+	ガクウツギ	+	タチネノメソウ		
			+	イノモトソウ	+	イヌワラビ		
			+	オオハチトメ				
			+	イワイチシダ				
			+	スルカテンナンショウ				
II	1・1	オオモミジ		+	ヒロードシダ			
	1・1	ウラジロガシ		+	マメヅタ			
	1・1	オニイタヤ		+	アブラヤシ			
	1・1	イロハモミジ		+	スルテ			
	1・1	アカガシ		+	マルミノヤマゴボウ			
	+	ツツラフシ		+	ミツバアケビ			
				+	ミスヒキ			
				+	キッコウハクマ			
				+	サルトリイバラ			
				+	ミヤマカナ			
III	1・2	チドリノキ		+	テイカカスラ			
	1・1	コクサギ		+	ウリハダカエテ			
	1・1	アブラヤシ		+	ヒメレンゲ			
	1・1	ウラジロガシ		+	カンスケ			
	+	ヤマツツシ		+	ジギンシ			
	+	ガクウツギ		+	ツツラフシ			
	+	ヒメウツギ		+	ウワハミソウ			
				+	イワホタン			
				+	ウルマサキ			
				+	ジンシソウ			

注) S：階層 (stratum)
 D・S：優占度 (dominance) ・群度 (sociability)
 SPP：種名

植生調査票(4)

調査地： 山梨県南巨摩郡南部町
 (地 形) 山頂：尾根：斜面：上・中・下・凹・凸(谷)：平地
 ボド性(褐森)赤・黄・黄褐森・アンド・グライ
 (土 壤) 擬グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層
 固岩層・水面下・黒ボク・その他

(風 当) 強・中(弱)
 (日 当) 陽・中陰(陰)
 (土 湿) 乾・適・湿・過湿
 (面 積) 10 × 20 m²
 (海 抜) 548 m
 (傾斜方向) E
 (傾 斜 度) 27°
 (北 緯) 35° 10' 54.3"
 (東 経) 138° 28' 05.3"
 (出現種数) 42 種

(階 層)	(優 占 種)	(高さm)	(植被率%)
I 高木層(T1)	オニイタヤ	14 ~ 25	90
II 亜高木層(T2)	イロハモミジ	8 ~ 14	60
III 低木層(S1)	ウラジロガシ	1 ~ 8	40
	(S2)	~	
IV 草本層(H1)	-	0 ~ 1	<5
	(H2)	~	
V コケ層(M)		~	



群落名： ミズキ・イロハモミジ群落(オニイタヤ群落)

調査日： 2019.10.25

階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名
I	3・3	オニイタヤ	III	1・2	イロハモミジ	IV	+	イロハタン
	2・2	ホオノキ		1・2	イヌカヤ		+	ウチワコケ
	2・1	オオモミジ		+	カクウツギ		+	イワタバコ
	1・2	ヤマトオオタモ		+	アブラチャン		+	キッコウハグマ
	1・1	カラスギンショウ		+	フサクラ		+	ムカゴネノメソウ
	1・1	ウラゲエンコウカエデ		+	サワシバ		+	ヤマムラサキ
	1・1	イヌブナ		+	アラカシ		+	コアカシ
	1・1	ミスギ		+	ツリバナ		+	サワハコバ
	+	サルナシ		+	マルバウツギ			
				+	ヒメウツギ			
		+	ミツデカエデ					
		+	カヤ					
II	2・2	イロハモミジ	IV	+	シラギ			
	2・2	シラギ		+	テイカカスラ			
	1・1	サワシバ		+	スズク			
	1・1	フサクラ		+	ノキシノブ			
	1・1	アラカシ		+	ヤマウツホ			
	+	ミツバアケヒ		+	アブラチャン			
	+	テイカカスラ		+	ヒメカンスゲ			
	+	コナラ		+	イヌワラビ			
	+	ミツデカエデ		+	カクウツギ			
				+	ウラジロガシ			
				+	カンスゲ			
				+	マルバウツギ			
				+	モミジイコ			
		+	ジュウモンジンダ					
		+	ハネノメソウ					

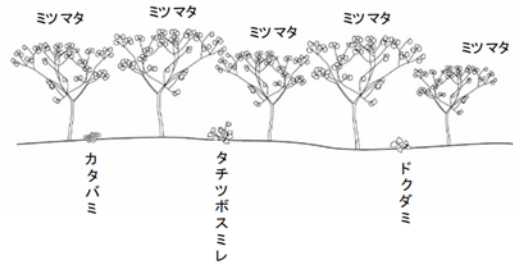
注) S：階層 (stratum)
 D・S：優占度 (dominance) ・群度 (sociability)
 S P P：種名

植生調査票(5)

調査地： 山梨県南巨摩郡南部町
 (地 形) 山頂(尾根) 斜面：上・中・下・凹・凸：谷：平地
 ボド性(褐森) 赤・黄・黄褐森・アンド・グライ
 (土 壤) 擬グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層
 固岩層・水面下・黒ボク・その他

(風 当) (強) 中・弱 (傾斜方向) -
 (日 当) (陽) 中陰・陰 (傾斜度) 0°
 (土 湿) (乾)・適・湿・過湿 (北 緯) 35° 11' 48.8"
 (面 積) 2 × 2 m² (東 経) 138° 27' 23.8"
 (海 抜) 290 m (出現種数) 17 種

(階 層)	(優 占 種)	(高さm)	(植被率%)
I 高木層(T1)		~	
II 亜高木層(T2)		~	
III 低木層(S1)	ミツマタ	1 ~ 1.5	90
	(S2)	~	
IV 草本層(H1)	マツカゼソウ	0 ~ 0.5	<5
	(H2)	~	
V コケ層(M)		~	



群落名： 低木群落(ミツマタ群落)

調査日： 2019.10.25

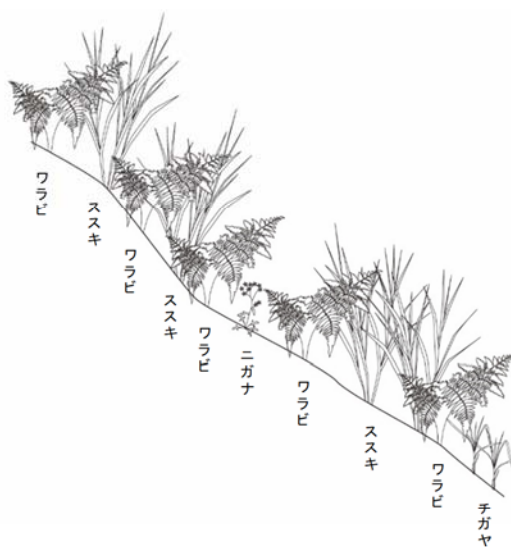
階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名
III	5・5	ミツマタ						
IV	+	マツカゼソウ						
	+	タチツボスミレ						
	+	モシゴイチゴ						
	+	ドクダミ						
	+	ヘビイチゴ						
	+	ミツマタ						
	+	カタバミ						
	+	ハリガネヲヒ						
	+	オランタミナグサ						
	+	キランソウ						
	+	ヒメスミレ						
	+	ミツハツチクワリ						
	+	ココメウツキ						
	+	イワヒメヲヒ						
	+	アオニタヒラコ						
	+	カナクキノキ						
	+	メアスガ						

注) S：階層 (stratum)
 D・S：優占度 (dominance) ・群度 (sociability)
 S P P：種名

植生調査票(6)

調査地： 山梨県南巨摩郡南部町
 (地 形) 山頂(尾根) 斜面：上・中・下・凹・凸：谷：平地
 ボド性(褐森) 赤・黄・黄褐森・アンド・グライ
 (土 壤) 擬グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩屑
 固岩屑・水面下・黒ボク・その他

(風 当) (強) 中・弱 (傾斜方向) N30° E
 (日 当) (陽) 中陰・陰 (傾 斜 度) 59°
 (土 湿) (乾)・適・湿・過湿 (北 緯) 35° 12' 48.0"
 (面 積) 2 × 2 m² (東 経) 138° 27' 43.5"
 (海 抜) 290 m (出現種数) 26 種



(階 層)	(優 占 種)	(高 さ m)	(植 被 率 %)
I 高木層(T1)		~	
II 亜高木層(T2)		~	
III 低木層(S1)	ミツマタ	1 ~ 3	<5
	(S2)	~	
IV 草本層(H1)	ススキ	0.5 ~ 1	50
	(H2) ワラビ	0 ~ 0.5	80
V コケ層(M)		~	

群落名： 伐採跡地群落

調査日： 2019.10.25

階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名
III	+	ミツマタ	IV	+	ネズミカヤ			
	+	アスマネササ	(H2)	+	ハイヌリ			
IV	2・2	ススキ						
(H1)	+	ツタ						
IV	4・4	ワラビ						
(H2)	1・2	ニガナ						
	1・1	チガヤ						
	+	オカトラノオ						
	+	ヤマノイモ						
	+	テイカカスラ						
	+	キツネノマゴ						
	+	ハシカクサ						
	+	コハナカマスミ						
	+	クチツホスミ						
	+	ツルニカクサ						
	+	ヘクソカスラ						
	+	フジ						
	+	ネコハキ						
	+	ニカイコ						
	+	センニンソウ						
	+	タケノコ						
	+	チカラシバ						
	+	ノサゲ						
	+	アリトウグサ						

注) S：階層 (stratum)
 D・S：優占度 (dominance) ・群度 (sociability)
 S P P：種名

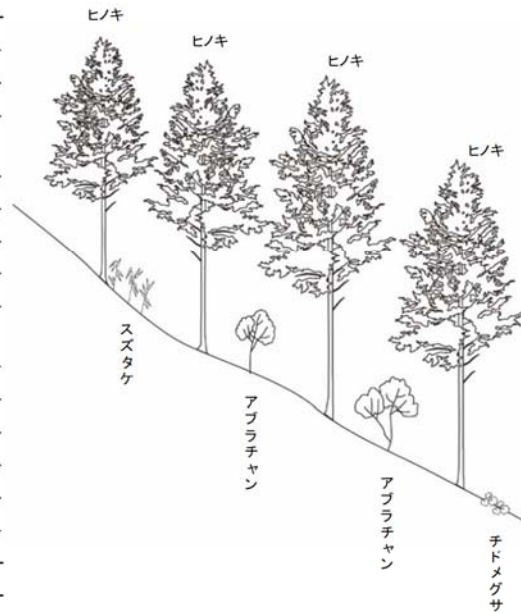
植生調査票(7)

調査地： 山梨県南巨摩郡南部町
 (地 形) 山頂：尾根 (斜面) 上・中・下・凹・凸：谷：平地
 ボド性 (褐森) 赤・黄・黄褐森・アンド・グライ
 (土 壤) 擬グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩屑
 固岩屑・水面下・黒ボク・その他

(風 当) 強・中 (弱)
 (日 当) 陽・中陰 (陰)
 (土 湿) 乾・適・湿・過湿
 (面 積) 20 × 20 m²
 (海 抜) 437 m

(傾斜方向) N86° E
 (傾 斜 度) 37°
 (北 緯) 35° 11' 11.7"
 (東 経) 138° 27' 59.3"
 (出現種数) 40 種

(階 層)	(優 占 種)	(高さm)	(植被率%)
I 高木層(T1)	ヒノキ	5 ~ 21	90
II 亜高木層(T2)	—	~	~
III 低木層(S1)	アブラチャン	1 ~ 5	40
	(S2)	~	~
IV 草本層(H1)	チドメグサ	0 ~ 1	10
	(H2)	~	~
V コケ層(M)	~	~	~



群落名： スギ・ヒノキ植林(ヒノキ植林)

調査日： 2019.10.25

階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名
I	5・5	ヒノキ	IV	+	コアジサイ			
				+	ハシコシタ			
				+	ヒサキ			
				+	テイカスラ			
				+	ヒメカシノクビソウ			
III	2・2	アブラチャン		+	ノササゲ			
	2・2	スズタケ		+	イワカラム			
	+	リュウブ		+	ヤブムラサキ			
	+	ミヤマハハツ		+	シロヨメナ			
	+	ヤブムラサキ		+	タマアジサイ			
	+	アオハダ		+	ハンショウヅル			
				+	モミジカサ			
				+	ヒロハクゲシバ			
				+	エコノキ			
				+	ツルマサキ			
IV	1・2	チドメグサ		+	ヤマシオウ			
	+	ヒメウリハミソウ		+	ヤブニッケイ			
	+	ココメウツキ		+	カンアオイ属sp.			
	+	フクオウソウ		+	スゲ属sp.			
	+	ミツマタ						
	+	アマチャヅル						
	+	マツカゼソウ						
	+	コミヤマシレ						
	+	トクダミ						
	+	ヤマハッカ						
	+	キッコウハクマ						
	+	シユウモンシタ						
	+	ハリカネラビ						
	+	ヤマクワ						
	+	カナクキノキ						

注) S：階層 (stratum)
 D・S：優占度 (dominance) ・群度 (sociability)
 SPP：種名

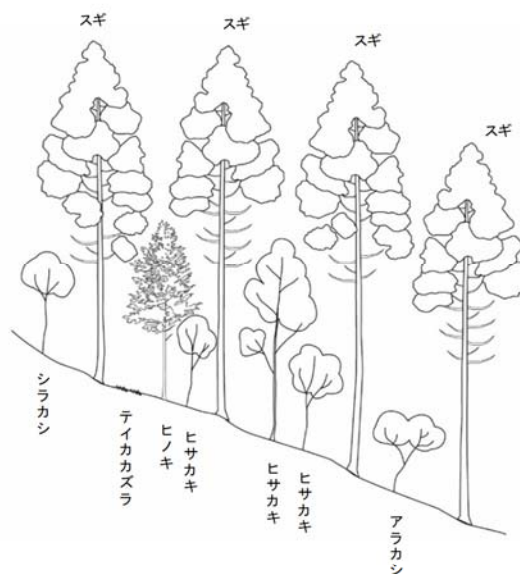
植生調査票(8)

調査地： 山梨県南巨摩郡南部町
 (地 形) 山頂：尾根 (斜面) 上・中・下・凹・凸：谷：平地
 ボド性 (褐森) 赤・黄・黄褐森・アンド・グライ
 (土 壤) 擬グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層
 固岩層・水面下・黒ボク・その他

(風 当) 強・中 (弱)
 (日 当) 陽・中陰 (陰)
 (土 湿) 乾・適・湿・過湿
 (面 積) 20 × 20 m²
 (海 抜) 160 m

(傾斜方向) S70° W
 (傾 斜 度) 36 °
 (北 緯) 35° 12' 37.2"
 (東 経) 138° 27' 39.2"
 (出現種数) 31 種

(階 層)	(優 占 種)	(高さm)	(植被率%)
I 高木層(T1)	スギ	20 ~ 24	90
II 亜高木層(T2)	ヒサカキ	~	10
III 低木層(S1)	ヒサカキ	6 ~ 8	30
	(S2)	2 ~ 6	
IV 草本層(H1)	チドメグサ	0.1 ~ 1	5
	(H2)	~	
V コケ層(M)		~	



群落名： スギ・ヒノキ植林(スギ植林)

調査日： 2019.10.25

階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名
I	5・5	スギ	IV	+	オハノイモツウ			
	+	ヒメキシソフ		+	コチミササ			
				+	オハチトメ			
				+	マツサセソウ			
				+	ハエトクソウ			
II	1・2	ヒサカキ		+	ホソハトウゲシハ			
	1・1	シラカシ		+	マツサカシタ			
	+	キツク		+	イノテ			
				+	ヤマウルシ			
				+	ヤブマオ			
III	2・2	ヒサカキ		+	ハリカネラビ			
	+	アラカシ		+	コハシコシタ			
	+	ヒノキ		+	ヤブタビラコ			
				+	ヤワラシタ			
				+	イノモツウ			
IV	+・2	テイカカスラ		+	ヒサカキ			
	+	ハカタシタ		+	ノササケ			
	+	クチトコロ						
	+	ヒメカシノキソウ						
	+	ココメウツキ						
	+	ハシコシタ						
	+	トクタミ						
	+	クマノミスキ						
	+	スキ						
	+	フモトシタ						
	+	ヘニシタ						
	+	ゼンマイ						
	+	ツルニンジン						
	+	シラカシ						
+	カラムシ							

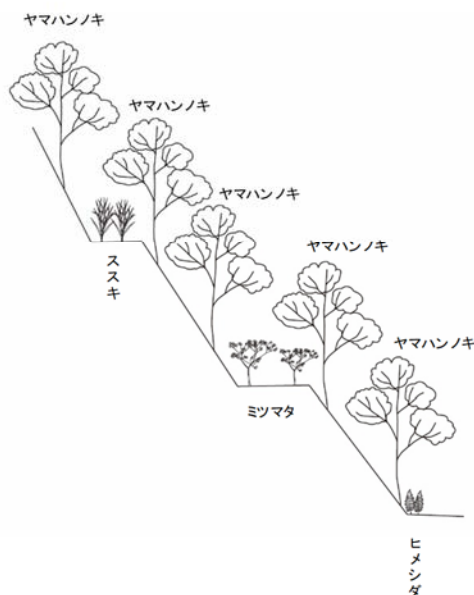
注) S：階層 (stratum)
 D・S：優占度 (dominance) ・群度 (sociability)
 S P P：種名

植生調査票(9)

調査地： 山梨県南巨摩郡南部町
 (地 形) 山頂：尾根 (斜面) 上・中・下・凹・凸：谷：平地
 ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ
 (土 壤) 擬グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層
 固岩層・水面下・黒ボク・(その他)

(風 当) (強) ・中・弱 (傾斜方向) N54° E
 (日 当) (陽) ・中陰・陰 (傾 斜 度) 30 °
 (土 湿) 乾・(適)・湿・過湿 (北 緯) 35° 11' 12.4"
 (面 積) 10 × 10 m² (東 経) 138° 27' 59.3"
 (海 抜) 460 m (出現種数) 35 種

(階 層)	(優 占 種)	(高さm)	(植 被 率%)
I 高木層(T1)	ー	～	
II 亜高木層(T2)	ヤマハンノキ	1.5 ～ 8	70
III 低木層(S1)	ミツマタ	1 ～ 1.5	5
	(S2)	～	
IV 草本層(H1)	ススキ	0 ～ 1	40
	(H2)	～	
V コケ層(M)		～	



群落名： その他植林(ヤマハンノキ植林)

調査日： 2019.10.25

階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名
II	3・3	ヤマハンノキ	IV	+	シュウブ [°] ソウ			
				+	ムラサキエノコ			
				+	ウスアカタハ [°] ミ			
				+	アケボ [°] ソウ			
				+	ヌカヒ [°]			
III	1・1	ミツマタ		+	ウツキ [°]			
	+	ヒノキ		+	メリケンカルカヤ			
	+	スギ [°]		+	ヒメシ [°] ヨオン			
				+	ハタ [°] カホオス [°] キ			
				+	イノモトソウ			
IV	2・2	ススキ		+	ヘビ [°] イチコ [°]			
	+・2	ヒメシダ [°]		+	コアカソ			
	+・2	イワニカ [°] ナ		+	ト [°] クダ [°] ミ			
	+	ヒメシホ [°] ソ		+	スケ [°] 属sp.			
	+	コナスビ [°]						
	+	ニカ [°] イチコ [°]						
	+	ケ [°] シ [°] ケ [°] シ [°] シダ [°]						
	+	ミツマタ						
	+	スギ [°]						
	+	ハシカク [°] サ						
	+	ムラサキケマン						
	+	モミジ [°] イチコ [°]						
	+	ヤマミス [°]						
	+	イヌコウシ [°] ユ						
	+	ハイヌメリ						
	+	ヨモキ [°]						
	+	マツカセ [°] ソウ						
	+	ヤブ [°] タビ [°] ラコ						
	+	ヒノキ						
	+	チト [°] メク [°] サ						

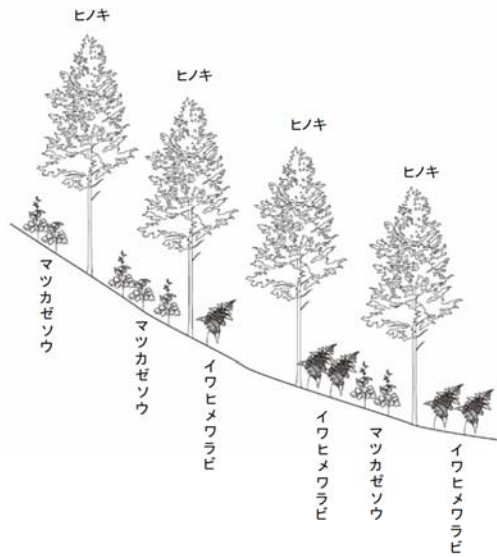
注) S：階層 (stratum)
 D・S：優占度 (dominance) ・群度 (sociability)
 S P P：種名

植生調査票(10)

調査地： 山梨県南巨摩郡南部町
 (地 形) 山頂：尾根(斜面) 上・中・下・凹・凸：谷：平地
 ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ
 (土 壤) 擬グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩層
 固岩層・水面下・黒ボク・(その他)

(風 当) 強・中・弱 (傾斜方向) N54° E
 (日 当) 陽・中陰・陰 (傾 斜 度) 30°
 (土 湿) 乾・適・湿・過湿 (北 緯) 35° 11' 43.5"
 (面 積) 5 × 5 m² (東 経) 138° 27' 18.3"
 (海 抜) 460 m (出現種数) 14 種

(階 層)	(優 占 種)	(高 さ m)	(植 被 率 %)
I 高木層(T1)	ー	～	
II 亜高木層(T2)		～	
III 低木層(S1)	ヒノキ	1.5 ～ 4	80
	(S2)	～	
IV 草本層(H1)	マツカゼソウ	0.1 ～ 1	40
	(H2)	～	
V コケ層(M)		～	



群落名： その他植林(ヒノキ低木植林)

調査日： 2019.10.25

階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名
III	4・4	ヒノキ						
IV	3・3	マツカゼソウ						
	2・2	イワヒメワラビ						
	+	アケボノソウ						
	+	ハリガネワラビ						
	+	ヘクソカスラ						
	+	ミツマタ						
	+	ミスヅキ						
	+	メギブマオ						
	+	ススキ						
	+	アシボソ						
	+	ヘビイチゴ						
	+	コモチマンネングサ						
	+	ヒノキ						
	+	テンナンショウ属sp.						

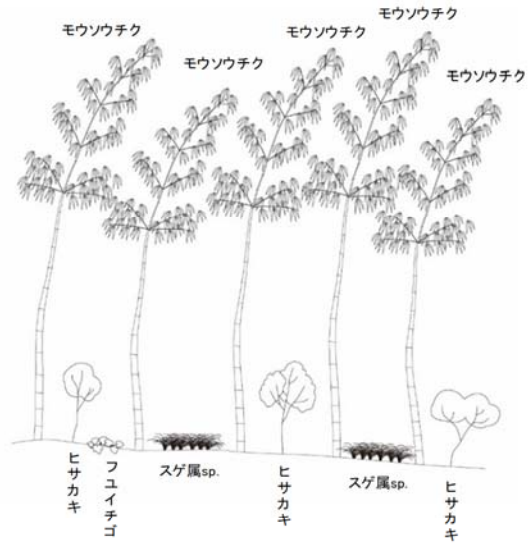
注) S：階層 (stratum)
 D・S：優占度 (dominance) ・群度 (sociability)
 S P P：種名

植生調査票(11)

調査地： 山梨県南巨摩郡南部町
 (地 形) 山頂：尾根：斜面：上・中・下・凹・凸(谷)平地
 ボド性(褐森)赤・黄・黄褐森・アンド・グライ
 (土 壤) 擬グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩屑
 固岩屑・水面下・黒ボク・その他

(風 当) 強・中(弱)
 (日 当) 陽・中陰(陰)
 (土 湿) 乾・適(湿)・過湿
 (面 積) 10 × 10 m²
 (海 抜) 215 m
 (傾斜方向) -
 (傾 斜 度) 0°
 (北 緯) 35° 12' 04.9"
 (東 経) 138° 27' 34.1"
 (出現種数) 41 種

(階 層)	(優 占 種)	(高さm)	(植 被 率%)
I 高木層(T1)	モウソウチク	5 ~ 11	90
II 亜高木層(T2)		~	
III 低木層(S1)	ヒサカキ	1 ~ 5	40
	(S2)	~	
IV 草本層(H1)	スゲ属sp.	0 ~ 1	70
	(H2)	~	
V コケ層(M)		~	



群落名：竹林

調査日： 2019.10.25

階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名
I	5・5	モウソウチク	IV	+	ヤブムラサキ			
				+	ヒガンバナ			
				+	体タノキ			
				+	コクラン			
				+	ヤマイチシダ			
III	2・2	ヒサカキ		+	エゴノキ			
	1・1	イロハモミジ		+	アズマネササ			
	1・1	アラカシ		+	ヒロハトウゲシハ			
	+	イヌカヤ		+	ヤブコウジ			
	+	フジ		+	イヌカヤ			
	+	アセビ		+	シラカシ			
	+	イロハモミジ		+	アオキ			
				+	ネムノキ			
				+	ホソバトウゲシハ			
				+	オオハナワラビ			
IV	3・3	スゲ属sp.		+	シュロ			
	1・1	フユイチゴ		+	ツタ			
	+	フジ		+	ナンテン			
	+	コチチミササ		+	クモキリウ			
	+	チャノキ		+	スキ			
	+	コハナカマスミ		+	ウメトキ			
	+	ツルグミ		+	タチコロ			
	+	ヘニシユスラン		+	ココメウツキ			
	+	ヌスビトハギ		+	ヤマウルシ			
	+	ノササゲ		+	アキノタムラウ			
				+	アオイスミレ			

注) S：階層 (stratum)
 D・S：優占度 (dominance) ・群度 (sociability)
 S P P：種名

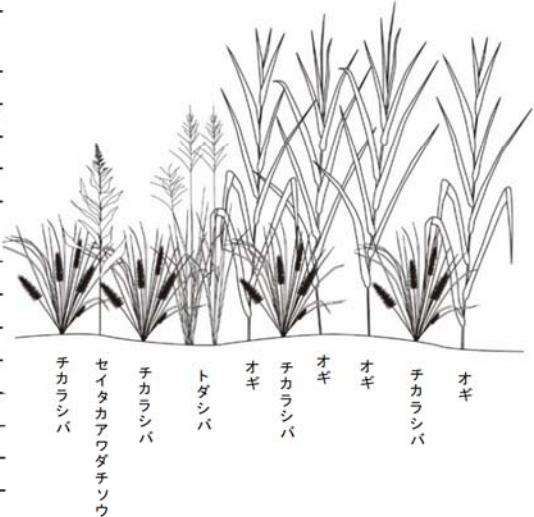
植生調査票(12)

調査地： 山梨県南巨摩郡南部町
 (地 形) 山頂：尾根：斜面：上・中・下・凹・凸：谷：平地
 ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ
 (土 壤) 擬グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩屑
 固岩屑・水面下・黒ボク・その他

(風 当) 強・中・弱
 (日 当) 陽・中陰・陰
 (土 湿) 乾・適・湿・過湿
 (面 積) 2 × 2 m²
 (海 抜) 215 m

(傾斜方向) -
 (傾 斜 度) 0°
 (北 緯) 35° 12' 02.6"
 (東 経) 138° 27' 47.0"
 (出現種数) 13 種

(階 層)	(優 占 種)	(高 さm)	(植 被 率%)
I 高木層(T1)		~	
II 亜高木層(T2)		~	
III 低木層(S1)		~	
	(S2)	~	
IV 草本層(H1)	オギ	0.6 ~ 2	50
	(H2) チカラシバ	0 ~ 0.6	90
V コケ層(M)		~	



群落名： 荒地雑草群落

調査日： 2019.10.25

階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名	階層	D・S	種 名
IV	2・2	オギ						
(H1)	1・2	トダシバ						
IV	5・5	チカラシバ						
(H2)	2・2	イヌコウジユ						
	1・2	ツホクサ						
	1・2	シソ						
	+	キツネノマコ						
	+	ゲンノショウコ						
	+	セイタカアワダチソウ						
	+	ウツキ						
	+	ヒメシヨオン						
	+	ヘクカスラ						
	+	クサイチコ						

注) S: 階層 (stratum)
 D・S: 優占度 (dominance) ・群度 (sociability)
 SPP: 種名

12.2 陸上動物調査資料

12.2.1 鳥類ラインセンサス集計票

鳥類ラインセンサス集計票に示す。

鳥類ラインセンサス集計票

種和名	秋季		冬季		早春		春季		夏季		合計	
	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
ヒヨドリ	45	15.7%	27	9.6%	14	10.4%	40	16.4%	51	17.4%	177	14.3%
ヒガラ	42	14.6%	63	22.5%	11	8.1%	28	11.5%	31	10.6%	175	14.1%
シジュウカラ	25	8.7%	34	12.1%	16	11.9%	16	6.6%	17	5.8%	108	8.7%
メジロ	43	15.0%	13	4.6%	5	3.7%	12	4.9%	18	6.1%	91	7.3%
ヤマガラ	12	4.2%	10	3.6%	6	4.4%	23	9.4%	24	8.2%	75	6.1%
カケス	34	11.8%	8	2.9%	8	5.9%	12	4.9%	3	1.0%	65	5.2%
ウグイス	10	3.5%	10	3.6%	9	6.7%	13	5.3%	13	4.4%	55	4.4%
エナガ	12	4.2%	16	5.7%	6	4.4%			15	5.1%	49	4.0%
キセキレイ	3	1.0%	1	0.4%	17	12.6%	9	3.7%	16	5.5%	46	3.7%
ミソサザイ			14	5.0%	10	7.4%	8	3.3%	6	2.0%	38	3.1%
ソウシチョウ	18	6.3%			4	3.0%	7	2.9%	6	2.0%	35	2.8%
キジバト	3	1.0%			3	2.2%	15	6.1%	6	2.0%	27	2.2%
マヒワ			27	9.6%							27	2.2%
オオルリ							15	6.1%	10	3.4%	25	2.0%
ホオジロ	4	1.4%	4	1.4%	6	4.4%	5	2.0%	5	1.7%	24	1.9%
キクイタダキ	5	1.7%	2	0.7%	6	4.4%			10	3.4%	23	1.9%
コガラ	7	2.4%	11	3.9%	1	0.7%	1	0.4%	3	1.0%	23	1.9%
キビタキ							9	3.7%	12	4.1%	21	1.7%
ハシブトガラス	1	0.3%	5	1.8%	3	2.2%	3	1.2%	9	3.1%	21	1.7%
ヤブサメ	2	0.7%					6	2.5%	5	1.7%	13	1.0%
イカル			10	3.6%			2	0.8%			12	1.0%
ガビチョウ							4	1.6%	8	2.7%	12	1.0%
アオバト	4	1.4%					2	0.8%	4	1.4%	10	0.8%
アオゲラ	4	1.4%			1	0.7%	2	0.8%	1	0.3%	8	0.6%
アカゲラ	3	1.0%			1	0.7%	2	0.8%	2	0.7%	8	0.6%
カワラヒワ							1	0.4%	7	2.4%	8	0.6%
コジュケイ	2	0.7%					1	0.4%	2	0.7%	5	0.4%
ヤマドリ			1	0.4%	2	1.5%	2	0.8%			5	0.4%
アオジ			4	1.4%							4	0.3%
カヤクグリ			4	1.4%							4	0.3%
カワガラス			4	1.4%							4	0.3%
クロジ			4	1.4%							4	0.3%
センダイムシクイ							2	0.8%	2	0.7%	4	0.3%
トビ	2	0.7%			1	0.7%			1	0.3%	4	0.3%
ルリビタキ			4	1.4%							4	0.3%
オンドリ					3	2.2%					3	0.2%
キバシリ			3	1.1%							3	0.2%
クロツグミ									3	1.0%	3	0.2%
コサメビタキ	1	0.3%							1	0.3%	2	0.2%
セグロセキレイ	2	0.7%									2	0.2%
ビンズイ	1	0.3%					1	0.4%			2	0.2%
アカショウビン									1	0.3%	1	0.1%
コガラ							1	0.4%			1	0.1%
ジュウイチ							1	0.4%			1	0.1%
シロハラ			1	0.4%							1	0.1%
ダイサギ	1	0.3%									1	0.1%
ツミ							1	0.4%			1	0.1%
トラツグミ					1	0.7%					1	0.1%
ハシボソガラス	1	0.3%									1	0.1%
ハヤブサ					1	0.7%					1	0.1%
ホトトギス									1	0.3%	1	0.1%
合計	287	—	280	—	135	—	244	—	293	—	1,239	—

注) 種和名の並びは合計の優占度が高い順とした。

12.2.2 鳥類ポイントセンサス集計票
鳥類ポイントセンサス集計票に示す。

鳥類ポイントセンサス集計票

種和名	夏季		秋季		春季		早春		冬季		合計	
	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
ヒヨドリ	8	20.0%	34	50.0%	7	13.5%	2	6.7%	8	21.6%	59	26.0%
メジロ	4	10.0%	7	10.3%	7	13.5%	2	6.7%	3	8.1%	23	10.1%
ウグイス	3	7.5%	2	2.9%	4	7.7%	4	13.3%			13	5.7%
ヤマガラ	1	2.5%	4	5.9%	6	11.5%	1	3.3%	1	2.7%	13	5.7%
トビ	3	7.5%	1	1.5%	2	3.8%	1	3.3%	5	13.5%	12	5.3%
ホオジロ	3	7.5%			1	1.9%	3	10.0%	4	10.8%	11	4.8%
ハシブトガラス	2	5.0%			2	3.8%	3	10.0%	3	8.1%	10	4.4%
キセキレイ	3	7.5%			4	7.7%	2	6.7%			9	4.0%
シジュウカラ			5	7.4%	1	1.9%	3	10.0%			9	4.0%
カケス	1	2.5%	2	2.9%			5	16.7%			8	3.5%
ヒガラ	3	7.5%	1	1.5%	3	5.8%					7	3.1%
カワラヒワ	3	7.5%			1	1.9%			2	5.4%	6	2.6%
コゲラ			3	4.4%			2	6.7%	1	2.7%	6	2.6%
マヒロ									6	16.2%	6	2.6%
イワツバメ			1	1.5%	4	7.7%					5	2.2%
ガビチョウ	4	10.0%			1	1.9%					5	2.2%
イカル			1	1.5%	3	5.8%					4	1.8%
エナガ			4	5.9%							4	1.8%
アオバト	1	2.5%	1	1.5%							2	0.9%
オオルリ					2	3.8%					2	0.9%
ジョウビタキ									2	5.4%	2	0.9%
ミソサザイ					1	1.9%	1	3.3%			2	0.9%
アオゲラ							1	3.3%			1	0.4%
アオジ									1	2.7%	1	0.4%
カヤクグリ									1	2.7%	1	0.4%
カワウ			1	1.5%							1	0.4%
キビタキ					1	1.9%					1	0.4%
サシバ					1	1.9%					1	0.4%
ツツドリ	1	2.5%									1	0.4%
ノスリ					1	1.9%					1	0.4%
ハヤブサ			1	1.5%							1	0.4%
合計	40	—	68	—	52	—	30	—	37	—	227	—

注) 種和名の並びは合計の優占度が高い順とした。

- 12.2.3 昆虫類ライトトラップ集計票
昆虫類ライトトラップ集計票(1)～(6)に示す。

昆虫類ライトトラップ集計票(1)

No.	目名	科名	種名	秋季	春季	夏季	合計	
1	カゲロウ目 (蜉蝣目)	モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	2			2	
2		ヒラタカゲロウ科	ヒラタカゲロウ科			6	6	
3		カワゲラ目 (セキ翅目)	オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ科	1			1
4			ヒロムネカワゲラ科	<i>Cryptoperla</i> 属			1	1
5			カワゲラ科	<i>Kamimuria</i> 属		1		1
6				<i>Neoperla</i> 属	6	3	5	14
7	バッタ目 (直翅目)	ツユムシ科	セスジツユムシ	2			2	
8			ヤマクダマキモドキ	1			1	
9			アシグロツユムシ	1			1	
10		コオロギ科	ヒメコオロギ	1			1	
11			モリオカメコオロギ	1			1	
12			コガシラウンカ科	ナワコガシラウンカ			1	1
13	カメムシ目 (半翅目)		スジコガシラウンカ	1			1	
14		ヒシウンカ科	オビカワウンカ		1		1	
15		ウンカ科	ヒメトビウンカ			15	15	
16		ハネナガウンカ科	クロフハネビロウンカ	1		1	2	
17			キスジハネビロウンカ	2			2	
18		アオバハゴロモ科	アオバハゴロモ	1			1	
19		セミ科	ツクツクボウシ			1	1	
20		アワフキムシ科	シロオビアワフキ	7		1	8	
21			モンキアワフキ	1			1	
22			ヒメシロオビアワフキ	1			1	
23			マダラアワフキ	14		4	18	
24			ミヤマアワフキ			1	1	
25			ヨコバイ科	オオヨコバイ	1			1
26				アライヒシモンヨコバイ	1		1	2
27				シラホシカシヨコバイ	1			1
28		ベニスジトガリヨコバイ		1			1	
29		イグチホシヨコバイ			6	1	7	
30		サシガメ科	クロトビロサシガメ	1			1	
31		ハナカメムシ科	ヤサハナカメムシ	1			1	
32		カスミカメムシ科	クロバカスミカメ			1	1	
33			ツマグロアオカスミカメ	2			2	
34			モンキハシリカスミカメ			1	1	
35			ケブカカスミカメ	1	2	5	8	
36			オオケナガカスミカメ			1	1	
37	オオホシカメムシ科		オオホシカメムシ	1		11	12	
38		ヒメホシカメムシ	3		25	28		
39	ナガカメムシ科	キベリヒョウタンナガカメムシ			1	1		
40		チャイロナガカメムシ	12		2	14		
41	ツノカメムシ科	ヒメツノカメムシ	1			1		
42	ツチカメムシ科	ヒメツチカメムシ			3	3		
43	カメムシ科	ツヤアオカメムシ			1	1		
44		クサギカメムシ	1		3	4		
45		チャバネアオカメムシ	23		12	35		
46		ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ		1	1	
47	アミメカゲロウ目 (脈翅目)	ヒロバカゲロウ科	ウンモンヒロバカゲロウ		1		1	
48		クサカゲロウ科	スズキクサカゲロウ			1	1	
49	シリアゲムシ目 (長翅目)	シリアゲムシ科	スカシシリアゲモドキ		1		1	
50	トビケラ目 (毛翅目)	シマトビケラ科	アミメシマトビケラ	3			3	
51			キブネミヤマシマトビケラ	5			5	
52			シロズシマトビケラ	3			3	
53			ウルマーシマトビケラ	1			1	
-				<i>Hydropsyche</i> 属	16	14		30
-				シマトビケラ科	1	77	199	277
54			カワトビケラ科	<i>Dolophilodes</i> 属			2	2
55			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	1	7	4	12
56			ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ	12	9		21
57			カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ	1			1
58		ヒゲナガトビケラ科	アオヒゲナガトビケラ	1			1	
59		トビケラ科	ムラサキトビケラ	1			1	
60		チョウ目 (鱗翅目)	マルハキバガ科	シロスジベニマルハキバガ		1		1
61				カノコマルハキバガ		1		1
62	アトヒゲコガ科		ヨモギハモグリコガ			1	1	
63			ナカジロハマキ			1	1	
64			ヒメサザナミハマキ			1	1	
65			チャノコカクモンハマキ	8	1	4	13	
66			マツアトキハマキ	1			1	
67			トビモンコハマキ	1			1	
68			チャハマキ	1			1	

昆虫類ライトトラップ集計票(2)

No.	目和名	科和名	種和名	秋季	春季	夏季	合計		
69	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	アトボシハマキ	3			3		
70			コケキオビヒメハマキ			2	2		
71			バラシロヒメハマキ			1	1		
72			ミスジマルバハマキ			1	1		
73		シロテンシロアシヒメハマキ			1	1			
74		オオギンスジアカハマキ			1	1			
75		ボクトウガ科	ゴマフボクトウ			1	1		
76		イラガ科	ムラサキイラガ			1	1		
77			カギバイラガ			1	1		
78			クロシタアオイラガ			1	4	5	
79			タイワンイラガ				1	1	
80			アカイラガ			1	6	7	
81		タテハチョウ科	クロコノマチョウ				1	1	
82			ジャノメチョウ				1	1	
83		ツトガ科	クロスジキノメイガ				1	1	
84			ヒメトガリノメイガ		1			1	
85			ツトガ		1	1	1	3	
86			シロモンノメイガ		3			3	
87			オオキノメイガ		1			1	
88			モンウスグロノメイガ				6	6	
89			モンキシロノメイガ				1	1	
90			シロスジツトガ		2	2	1	5	
91			クロスジツトガ				1	1	
92			スカシノメイガ				2	2	
93			クロヘリキノメイガ			1		1	
94			オオモンシロルリノメイガ				3	3	
95			ウスオビクロノメイガ		1			1	
96			ヒメシロノメイガ		1			1	
97			マエアカスカシノメイガ		1	3		4	
98			ゼニガサミズメイガ				3	3	
99			クビシロノメイガ		1		1	2	
100			クロスジキノメイガ		1			1	
101			オオキバラノメイガ				2	2	
102			ホソスジツトガ				1	1	
103			クロスジノメイガ		2	1		3	
104			モンシロルリノメイガ		1		3	4	
105			メイガ科	ウスアカムラサキマダラメイガ				1	1
106				キベリトガリメイガ				5	5
107				アカシマメイガ				1	1
108				トビイロシマメイガ		1			1
109				アカマダラメイガ				2	2
110		<i>Salma</i> 属				1	1	2	
111		ギンモンシマメイガ		1			1		
112		マドガ科	スギタニマドガ				1	1	
113		カギバガ科	マエキカギバ				1	1	
114			ウスイロカギバ				1	1	
115			フタテシロカギバ				7	7	
116			ヒメウスベントガリバ				1	1	
117			モンウスギヌカギバ		3		1	4	
118			ウスギヌカギバ		3	2	2	7	
119			ギンスジカギバ				1	1	
120			ヤマトカギバ		1			1	
121			アシベニカギバ		1			1	
122			ヒメハイイロカギバ		5		7	12	
123			ウコンカギバ				4	4	
124			シャクガ科	ユウマダラエダシャク		2			2
125		アシプトチズモンアオシャク					1	1	
126		ナカウスエダシャク				13	1	14	
127		ゴマフキエダシャク				3	5	8	
128		クロクモエダシャク			33	8	7	48	
129		ソトシロオビエダシャク				1		1	
130		ヒロバトガリナミシャク			1			1	
131		ホソバトガリナミシャク			1			1	
132		ヨツモンマエジロアオシャク					1	1	
133		マツオオエダシャク				2	3	5	
134		ウスアオシャク			5	9	13	27	
135		ヒロオビエダシャク			1			1	
136		オオハガタナミシャク			5			5	
137		フトフタオビエダシャク				9		9	
138		オオトビスジエダシャク				5	5	10	

昆虫類ライトトラップ集計票(3)

No.	目和名	科和名	種和名	秋季	春季	夏季	合計
139	チョウ目(鱗翅目)	シヤクガ科	サラサエダシヤク			2	2
140			アトスジグロナミシヤク		1		1
141			セアカカバナミシヤク		1	11	12
142			キアミメナミシヤク	7	4	1	12
143			ハガタナミシヤク	6	3	2	11
144			キマダラオオナミシヤク	1		2	3
145			ナミガタエダシヤク		4	3	7
146			ウラベニエダシヤク		1		1
147			ウスクモナミシヤク		6		6
148			ナカシロオビエダシヤク	2			2
149			ウスバミスジエダシヤク	1		12	13
150			ハミスジエダシヤク	1	12	5	18
151			シロスジヒメエダシヤク			1	1
152			キホソスジナミシヤク		1		1
153			ツバメアオシヤク			2	2
154			ナカジロナミシヤク	1			1
155			エグリツマエダシヤク	1	3		4
156			ヨツメエダシヤク			4	4
157			シロモンウスチャヒメシヤク		2		2
158			クロフヒメエダシヤク		1		1
159			ウスクモエダシヤク	3	1		4
160			ウスキツバメエダシヤク	2	4		6
161			コガタツバメエダシヤク		8		8
162			ヒロバウスアオエダシヤク	18			18
163			オオゴマダラエダシヤク			1	1
164			ツマキリウスキエダシヤク	2			2
165			ヤマトエダシヤク	6			6
166			ネグロウスベニナミシヤク		1		1
167			トビネオオエダシヤク	1	1	3	5
168			リンゴツノエダシヤク		1		1
169			ナカキエダシヤク		1	1	2
170			ツマキエダシヤク		3		3
171			マエキオエダシヤク		1		1
172			クロフオオシロエダシヤク		1		1
173			ニセオレクギエダシヤク		3		3
174			ホシミスジエダシヤク	1			1
175			ナミスジエダシヤク		5		5
176			クロテンシロヒメシヤク	1			1
177			モントビヒメシヤク			1	1
178			ムラサキエダシヤク			1	1
179			ビロードナミシヤク	1	7	2	10
180			ハグルマエダシヤク			2	2
181			ヒロオビオオエダシヤク			2	2
182			ミスジツマキリエダシヤク	2	6	3	11
183		ツバメガ科	クロホシフタオ		1		1
184		カレハガ科	タケカレハ			2	2
185			ヨシカレハ	1			1
186			リンゴカレハ	1			1
187		ヤママユガ科	オオミズアオ本土亜種			4	4
188			ヤママユ本土亜種	3			3
189		スズメガ科	ハネナガブドウスズメ		1		1
190			ウンモンズズメ		1		1
191			サザナミスズメ			1	1
192			モモスズメ		1		1
193			クチバスズメ			2	2
194			ビロードスズメ			1	1
195		シヤチホコガ科	バイバラシロシヤチホコ		3	3	6
196			ホソバネグロシヤチホコ			2	2
197			ノヒラトビモンシヤチホコ		1		1
198			コトビモンシヤチホコ			2	2
199			ホソバシヤチホコ			4	4
200			シロスジエグリシヤチホコ		1		1
201			クロシタシヤチホコ			1	1
202			ハイイロシヤチホコ	1	3		4
203			ウスキシヤチホコ		4	3	7
204			オオエグリシヤチホコ		3	3	6
205			スジエグリシヤチホコ	1			1
206			クログリシヤチホコ		2	2	4
207			カエデシヤチホコ		1		1
208			ウスイロギンモンシヤチホコ			1	1

昆虫類ライトトラップ集計票(4)

No.	目和名	科和名	種和名	秋季	春季	夏季	合計		
209	チョウ目 (鱗翅目)	シャチホコガ科	アオシャチホコ			4	4		
210			ギンモンスズメドキ			6	6		
211				アオバシャチホコ	2			2	
212		ヒトリガ科	Aemene属	Aemene属	2			2	
213				ハガタベニコケガ				4	4
214				スジベニコケガ			4		4
215				マエグロホソバ		8			8
216				アカスジシロコケガ		13		19	32
217				ヒメキホソバ		9	1	14	24
218				キシタホソバ		12	1	13	26
219				クロテンハイイロコケガ		2		1	3
220				キベリネズミホソバ		11		12	23
221				カクモンヒトリ		2			2
222				ヨツボシホソバ		1			1
223				スジモンヒトリ		2	11		13
224				オビヒトリ			1		1
225				アカハラゴマダラヒトリ			1		1
226				ドクガ科		スギドクガ	2	12	49
227		アカヒゲドクガ					1		1
228		マメドクガ						2	2
229		ブドウドクガ				1		4	5
230		マエグロマイマイ本州亜種						2	2
231		ゴマフリドクガ日本本土・奄美亜種				1		4	5
232		ヤガ科		フジオアツバ			1	1	
233				オオウスヅマカラスヨトウ			4	4	
234				ナンカイカラスヨトウ		2			2
235				オオシマカラスヨトウ		3			3
236	シロテンウスグロヨトウ				3		9	12	
237	シロモンオビヨトウ					2		2	
238	ヒメサビスジヨトウ				2	1		3	
239	モクメヤガ				3	1	1	5	
240	コウンモンクチバ						15	15	
241	ヤマガタアツバ				1	3		4	
242	チャイロアツバ				2			2	
243	ムラサキツマキリヨトウ				3		3	6	
244	オオエグリバ						1	1	
245	オニベニシタバ						1	1	
246	キシタバ						1	1	
247	ナカキマエモンコヤガ				1			1	
248	カバイロシマコヤガ						1	1	
249	ハガタクチバ					1		1	
250	ウスアカヤガ						1	1	
251	オオバコヤガ				1	1	1	3	
252	アカフヤガ				8			8	
253	マエヘリモンアツバ					1	2	3	
254	モンオビヒメヨトウ				7			7	
255	ケンモンキリガ					2		2	
256	シロモンコヤガ					1		1	
257	モンムラサキクチバ						1	1	
258	ホソバミドリヨトウ					1		1	
259	ハナマガリアツバ				1			1	
260	ウスキミスジアツバ				2			2	
261	フシキアツバ				1			1	
262	ソトウスグロアツバ				3			3	
263	タイワンキシタアツバ				5		3	8	
264	アオアカガネヨトウ				1			1	
265	スジシロコヤガ					4		4	
266	ハスオビコヤガ						1	1	
267	シャクドウクチバ						2	2	
268	ムラサキヒメクチバ						1	1	
269	ツマオビアツバ				2			2	
270	マダラキヨトウ					1		1	
271	フタオビキヨトウ				2	2		4	
272	フタオビコヤガ						3	3	
273	ヒゲブトクアツバ						1	1	
274	カラフトゴマケンモン						1	1	
275	シロテンムラサキアツバ				1			1	
276	シラオビアカガネヨトウ				1		1	2	
277	シロフコヤガ				2			2	
278	フタスジヨトウ						16	16	

昆虫類ライトトラップ集計票(5)

No.	目名	科名	種名	秋季	春季	夏季	合計	
279	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ツマテンコブヒゲアツバ	1			1	
280			マエテンアツバ			2	2	
281			ベニモントラガ			1	1	
282			オオアカマエアツバ		4		1	5
283			カバズジャガ			1		1
284			オスグロトモエ				2	2
285			シラフクチバ				1	1
286			カザリツマキリアツバ			1		1
287			シロモンヤガ		2			2
288			キシタミドリヤガ		2			2
289			ハイイロキシタヤガ		6			6
290			コブガ科	マエキリンガ			1	1
291				カマフリンガ	2			2
292				アミメリンガ	1			1
293	ハエ目 (双翅目)	オビヒメガガンボ科	<i>Dicranota</i> 属		1		1	
294		ヒメガガンボ科	カスリヒメガガンボ		1		1	
295			<i>Limonia</i> 属	5	17		22	
296		ガガンボ科	アヤヘリガガンボ		4		4	
297			<i>Tipula</i> 属	4	2		6	
298		ユスリカ科	ユスリカ科			1	1	
299		クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	3	1	1	5	
300		シギアブ科	シギアブ科		2		2	
301		オドリバエ科	<i>Rhamphomyia</i> 属		1		1	
-			オドリバエ科		1		1	
302		ショウジョウバエ科	<i>Drosophila</i> 属		1		1	
303		トゲハネバエ科	トゲハネバエ科	1			1	
304		シマバエ科	シモフリシマバエ		1		1	
305		デガシラバエ科	フトハチモドキバエ			1	1	
306		イエバエ科	イエバエ科		2		2	
307		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	1			1	
308		コウチュウ目 (鞘翅目)	オサムシ科	キイロチビゴモクムシ	1		1	2
309	キベリゴモクムシ					1	1	
310	ウスモンミズギワゴミムシ					1	1	
311	オオアオモリヒラタゴミムシ					5	5	
312	ハラアカモリヒラタゴミムシ					1	1	
313	カワチゴミムシ			1			1	
314	ヤセアトキリゴミムシ					1	1	
315	コヨツボシアトキリゴミムシ					1	1	
316	ホソアトキリゴミムシ			1		1	2	
317	ヒメケゴモクムシ			13		1	14	
318	ウスアカクロゴモクムシ			1		3	4	
319	オオヒラタアトキリゴミムシ					1	1	
320	カドツブゴミムシ			1			1	
321	カラカネゴモクムシ					1	1	
322	オオヒラタゴミムシ			3		1	4	
323	ヒラタコミズギワゴミムシ			1			1	
324	ゲンゴロウ科			コシマゲンゴロウ	1			1
325				ヒメシマチビゲンゴロウ	1			1
326	ガムシ科			トゲバゴマフガムシ			1	1
327				セマルケシガムシ	2			2
328				<i>Laccobius</i> 属			3	3
329				マメガムシ			1	1
330	シテムシ科			オオモモトシテムシ	1		5	6
331			クロシテムシ			3	3	
332			ヨツボシモンシテムシ	2	4	4	10	
333	ハネカクシ科		ニセヒメユミセミゾハネカクシ			1	1	
334			コマルズハネカクシ			1	1	
335			<i>Gyrophaena</i> 属	4			4	
336	マルハナノミ科		トビイロマルハナノミ			2	2	
337	コガネムシ科		サクラコガネ			1	1	
338			ヒメコガネ			6	6	
339			ゴホンダイコクコガネ	27		13	40	
340			コヒゲシマビロウドコガネ	2		1	3	
341			ナガチャコガネ			21	21	
342			アカビロウドコガネ			5	5	
343			カミヤビロウドコガネ			5	5	
344			スジコガネ			3	3	
345		カドマルエンマコガネ			3	3		
346		セスジカクマゴソコガネ			2	2		
347			ヒゲナガビロウドコガネ			2	2	

昆虫類ライトトラップ集計票(6)

No.	目和名	科和名	種和名	秋季	春季	夏季	合計	
348	コウチュウ目 (鞘翅目)	コガネムシ科	カブトムシ			1	1	
349		ヒメドロムシ科	キスジミゾドロムシ			1	1	
350			ミゾツキドロムシ			1	1	
351		ナガハナノミ科	コヒゲナガハナノミ			26	26	
352		コメツキムシ科	ムナビロサビキコリ				5	5
353			<i>Glyphonyx</i> 属				4	4
354			チャイロコメツキ			1		1
355			ホソキコメツキ				2	2
356			クシコメツキ				5	5
357			ヒゲナガコメツキ			1		1
358			オオナガコメツキ		1		34	35
359			オオツヤハダコメツキ				1	1
360			カッコウムシ科	クロダングラカッコウムシ	1			1
361			テントウムシ科	ナミテントウ			1	1
362		オオキノコムシ科	カタモンオオキノコムシ	1		1	2	
363		ナガクチキムシ科	キイロホソナガクチキ	2		1	3	
364			ヒメホソナガクチキ			1	1	
365		ツチハンミョウ科	キイロゲンセイ			1	1	
366		ハナノミ科	ハナノミ科			1	1	
367		カミキリモドキ科	カトウカミキリモドキ			2	2	
368			キバネカミキリモドキ			1	1	
369		ゴミムシダマシ科	ナミスイロクチキムシ			1	1	
370			コマルキマワリ			2	2	
371			アカツヤバネクチキムシ			1	1	
372			フナガタクチキムシ			2	2	
373			テントウゴミムシダマシ	4			4	
374			ホンドニジゴミムシダマシ	1			1	
375		カミキリムシ科	ビロウドカミキリ			2	2	
376			ノコギリカミキリ			6	6	
377			シロオビチビカミキリ	1			1	
378			チャボヒゲナガカミキリ			1	1	
379		ハムシ科	ツブノミハムシ			1	1	
380			ムナグロツヤハムシ			4	4	
381			クロウリハムシ	6			6	
382		ゾウムシ科	ケブカヒメカタゾウムシ		1		1	
383	クリシギゾウムシ		2			2		
384	アシナガオニゾウムシ				1	1		
385	マダラメカクシゾウムシ				1	1		
386	ヒラズネヒゲボソゾウムシ				2	2		
387	リンゴヒゲボソゾウムシ				4	4		
388	キクイムシ科		ツツミキクイムシ			1	1	
389	ハチ目 (膜翅目)	コマユバチ科	<i>Ascogaster</i> 属	1			1	
390		ヒメバチ科	<i>Netelia</i> 属		1	2	3	
391		アリ科	オオハリアリ			5	5	
392			ハリプトシリアゲアリ	2			2	
393			キイロシリアゲアリ	2			2	
394			トビイロケアリ	6		4	10	
395		コハナバチ科	<i>Lasioglossum</i> 属		1		1	
合計	12目	93科	395種	544	399	968	1,911	

12.2.4 昆虫類ベイトトラップ集計票
昆虫類ベイトトラップ集計票に示す。

昆虫類ベイトトラップ集計票

No.	目和名	科和名	種和名	秋季	春季	夏季	合計	
1	ゴキブリ目 (網翅目)	チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ		1		1	
2	バッタ目 (直翅目)	カマドウマ科	コノシタウマ	3		3	6	
3		マツムシ科	ズムシ	1			1	
4		コオロギ科	ヒメコオロギ	9			9	
5			モリオカメコオロギ	3		9	12	
6			エンマコオロギ			1	1	
7		ヒバリモドキ科	マダラスズ	3			3	
8			ヒメスズ	2			2	
9		カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	ヒゲナガカスミカメ			1	1
10	ツチカメムシ科		ツチカメムシ	1			1	
11	ハエ目 (双翅目)	ショウジョウバエ科	<i>Drosophila</i> 属	1			1	
12		クロバエ科	<i>Lucilia</i> 属	1			1	
13		イエバエ科	イエバエ科	1		1	2	
14		ヤドリバエ科	ヤドリバエ科	1			1	
15	コウチュウ目 (鞘翅目)	オサムシ科	クビボソゴミムシ	1		1	2	
16			コガシラナガゴミムシ			2	2	
17			クロツヤヒラタゴミムシ	27		2	29	
18			ヒメツヤヒラタゴミムシ	1	3		4	
19			ハネカクシ科	クヤマトヒゲブトアリヅカムシ本州亜種		1		1
20		クロサビイロマルズオオハネカクシ		1			1	
21		クロガネトガリオオズハネカクシ				1	1	
22		センチコガネ科	オオセンチコガネ	2		3	5	
23			センチコガネ			1	1	
24		クワガタムシ科	オニクワガタ	1			1	
25		コガネムシ科	マメダルマコガネ		1		1	
26		コメツキムシ科	キアシミズギワコメツキ	1			1	
27		ヒラタムシ科	ヒレルチビヒラタムシ	1			1	
28		ヒメハナムシ科	キイロアシナガヒメハナムシ			1	1	
29		ゴミムシダマシ科	クロツヤキマワリ	1			1	
30		カミキリムシ科	ノコギリカミキリ			1	1	
31		ゾウムシ科	チビヒョウタンゾウムシ	1			1	
32		オサゾウムシ科	オオゾウムシ	2			2	
33		ハチ目 (膜翅目)	アリ科	アシナガアリ	123		1	124
34				オオハリアリ	2	1		3
35				ナカスジハリアリ	7		17	24
36				クロオオアリ	23		4	27
37				ムネアカオオアリ	4	2		6
38				ハヤシクロヤマアリ	22	1		23
39				クロヤマアリ	14		16	30
40				トビロケアリ		46	22	68
41				アメイロアリ	263	355	1,207	1,825
42	アズマオオズアリ			2	600	3,200	3,802	
43	アミアアリ			6			6	
44	トビイロシワアリ			3	9	80	92	
合計	6目	24科	44種	534	1,020	4,574	6,128	

12.3 水生生物調査資料

12.3.1 底生動物定量採集集計票

底生動物定量採集集計票(1)～(2)に示す。

底生動物定量採集集計票(1)

No.	門和名	綱和名	目和名	科和名	種和名	冬季	春季	夏季	合計
1	扁形動物門	有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ		7	2	9
2	環形動物門	ミミズ綱	オヨギミミズ目	オヨギミミズ科	オヨギミミズ科	2			2
3			イトミミズ目	ヒメミミズ科	ヒメミミズ科	1			1
4				ミズミミズ科	ナミミズミミズ	7		5	12
5					カワリミズミミズ		5		5
6					ハヤセミズミミズ	6	7	1	77
-					ミズミミズ科	8	77	2	87
7			ツリミミズ目	-	ツリミミズ目			1	1
8	節足動物門	軟甲綱	エビ目	サワガニ科	サワガニ	1	2	1	4
9		昆虫綱	カゲロウ目 (蜉蝣目)	トビロカゲロウ科	ヒメトビロカゲロウ		1	7	8
1					トビロカゲロウ属	23	6	4	33
11				モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	1	1	1	3
12				マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	1			1
13					クロマダラカゲロウ		2		2
-					トウヨウマダラカゲロウ属	12			12
14					オオマダラカゲロウ	1			1
15					ヨシノマダラカゲロウ		76	1	77
16					フタマタマダラカゲロウ		1		1
-					トゲマダラカゲロウ属	18	9		27
17					マダラカゲロウ属		29	8	37
18					アカマダラカゲロウ	2			2
19				ヒメフタオカゲロウ科	ヒメフタオカゲロウ属	12	1		13
2				コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	27	14	58	99
21					フタバコカゲロウ	31	21	4	56
22					サホコカゲロウ			2	2
23					シロハラコカゲロウ	14	761	18	973
24					Fコカゲロウ		21		21
25					Jコカゲロウ			2	2
-					コカゲロウ属			8	8
26					コバネヒゲトガリコカゲロウ		3	1	4
27				ヒラタカゲロウ科	ミヤマタニガワカゲロウ属	142			142
28					ミドリタニガワカゲロウ		6	6	12
-					タニガワカゲロウ属		19	18	37
29					ウエノヒラタカゲロウ	2		1	3
3					ナミヒラタカゲロウ	11			11
31					エルモンヒラタカゲロウ	6	2	7	15
-					ヒラタカゲロウ属	4	4	4	12
32					ヒメヒラタカゲロウ属	21	62	1	93
33			トンボ目 (蜻蛉目)	サナエトンボ科	ヒメクロサナエ		1		1
34			カワゲラ目 (セキ翅目)	クロカワゲラ科	クロカワゲラ科	87			87
35				ホソカワゲラ科	ホソカワゲラ科	1	1		2
36				オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属	59	19	49	127
37					オナシカワゲラ属	47	15	5	67
38					ユビオナシカワゲラ属	1	13	4	54
39				シタカワゲラ科	シタカワゲラ科	1			1
4				ミドリカワゲラ科	セスジミドリカワゲラ属		1		1
-					ミドリカワゲラ科	13	6		19
41				カワゲラ科	コナガカワゲラ属	1	2	2	5
42					カミムラカワゲラ		1		1
43					ウエノカワゲラ	2			2
-					カミムラカワゲラ属	3	2		5
44					フタツメカワゲラ属	1	2	1	4
45					クラカケカワゲラ属	1	4		5
46					トウゴウカワゲラ属	7	5	4	16
47					キカワゲラ属			4	4
-					カワゲラ科	3	1	5	18
48				アミメカワゲラ科	コグサヒメカワゲラ属	7			7
49					ヒメカワゲラ属	3			3
-					アミメカワゲラ科	21		1	22
5			カメムシ目 (半翅目)	カタビロアメンボ科	ナガレカタビロアメンボ属		1		1
51			ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	1	1	1	3
52			アミメカゲロウ目 (脈翅目)	シロカゲロウ科	シロカゲロウ属		1		1
53			トビケラ目 (毛翅目)	シマトビケラ科	アミメシマトビケラ属			1	1
54					ミヤマシマトビケラ属	1	5	3	9
55					シロズシマトビケラ			4	4
56					ウルマーシマトビケラ	8			8
-					シマトビケラ属	14	4	14	68
57					シロフツヤトビケラ属			1	1
58				カワトビケラ科	タニガワトビケラ		2		2
-					カワトビケラ科		7		7
59				ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ		8		8
6				ヤマトビケラ科	コヤマトビケラ属	1			1
61					ヤマトビケラ属	8	4	23	71
62				カワリナガレトビケラ科	ツメナガレトビケラ	1	7	1	9
63				ナガレトビケラ科	クレメンズナガレトビケラ		4	1	5
64					カワムラナガレトビケラ	2			2
65					レイゼイナガレトビケラ	1			1
66					ムナグロナガレトビケラ		1		1
67					シコツナガレトビケラ			2	2

底生動物定量採集集計票(2)

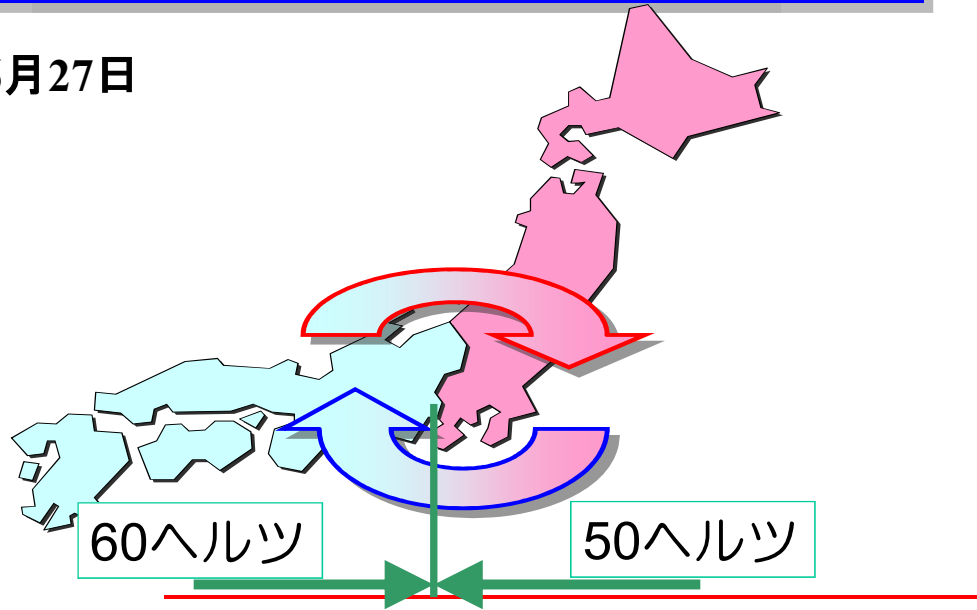
No.	門和名	綱和名	目和名	科和名	種和名	冬季	春季	夏季	合計					
68	節足動物門	昆虫綱	トビケラ目 (毛翅目)	ナガレトビケラ科	ヤマナカナガレトビケラ			1	1					
-							ナガレトビケラ属	12	1		22			
69							カクスイトビケラ科	ハナセマルツツトビケラ			4	4		
7							カクスイトビケラ科	ウエノマルツツトビケラ	1			1		
71							ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ	1		1	2		
72							カクツツトビケラ科	オオカクツツトビケラ			3	3		
-								カクツツトビケラ属	13	1	4	18		
73							クロツツトビケラ科	クロツツトビケラ	3			3		
74						ハエ目 (双翅目)	オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	1	2		3		
75									ダイミョウガガンボ属	1			1	
76								ヒメガガンボ科	ウスバガガンボ属	8	16	5	29	
77									ヒゲナガガガンボ属	2	1	2	5	
78								ガガンボ科	ガガンボ属		1		1	
79								ヌカカ科	ヌカカ科	4			4	
8								ユスリカ科	ケブカエリユスリカ属	11	1	3	15	
81									ハダカユスリカ属	2			2	
82									エダゲヒゲユスリカ属		2		2	
83									コナユスリカ属	2			2	
84									ツヤユスリカ属		2		2	
85									ヤマユスリカ属	15			15	
86									テンマクエリユスリカ属		1		1	
87									フユユスリカ属	5			5	
88									ケバネエリユスリカ属		1		1	
89									ナガスネユスリカ属	1			1	
9									ツヤムネユスリカ属			1	1	
91									エリユスリカ属	152			152	
92									オオユキユスリカ属		1		1	
93									ケバコブユスリカ属	1			1	
94									ニセケバネエリユスリカ属		1		1	
95									ケナガケバネエリユスリカ属		2		2	
96									ハモンユスリカ属	1	16		17	
97									サワユスリカ属	3	4		7	
98									ナガレユスリカ属	1	2	1	4	
99									カンムリケミゾユスリカ属		1		1	
1									フサユキユスリカ属	1			1	
11									ユキユスリカ属	1			1	
12									ヌカユスリカ属	1			1	
13									ニセテンマクエリユスリカ属	32	5	6	43	
-									ユスリカ科	155	3	4	189	
14								ブユ科	ツノマユブユ属	1	4		5	
15									アシマダラブユ属	397	29		426	
16								ナガレアブ科	クロモンナガレアブ		1		1	
17								オドリバエ科	オドリバエ科	2	1	1	4	
18							コウチュウ目 (鞘翅目)	ゲンゴロウ科	モンキマメゲンゴロウ	1			1	
19								ヒメドロムシ科	ナガアシドロムシ属			1	1	
11										ゴトウミゾドロムシ		7	1	8
111										ツヤドロムシ		1		1
112										ミソツヤドロムシ		1		1
-										ツヤドロムシ属			1	1
113									ヒラタドロムシ科	ヒメマルヒラタドロムシ	3	3	2	8
合計				5門	6綱		16目	47科	113種	159	1,546	465	361	

12.4 山梨県環境影響評価等技術審議会説明資料

山梨県環境影響評価等技術審議会(令和元年6月27日)における事業者説明資料を次頁に示す。

東清水線(仮称)新設工事事業 環境影響評価方法書の概要

2019年6月27日



本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6

1

環境影響評価方法書の構成

- 第1章 : 事業計画の概要
 - 第2章 : 地域特性(自然・社会的状況)
 - 第3章 : 環境影響要因及び環境要素の抽出
 - 第4章 : 環境影響評価を行う項目
 - 第5章 : 環境影響評価の手法
 - 第6章 : 対象事業に係る環境影響を受ける
範囲と認められる地域
 - 第7章 : 環境影響評価図書を作成した
事業者氏名及び住所
- 参考資料

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6

2

第1章 事業計画の概要

1. 事業者の氏名及び住所

名称：東京電力パワーグリッド株式会社
代表者：代表取締役社長 金子 禎則
住所：東京都千代田区内幸町1丁目1番3号

2. 事業の名称等

名称：東清水線（仮称）新設工事業
（以下、「東清水線（仮称）」という。）
種類：第二分類事業 電気工作物の設置
（送電線路の設置）の工事業
規模：電圧 275 kV

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6

3

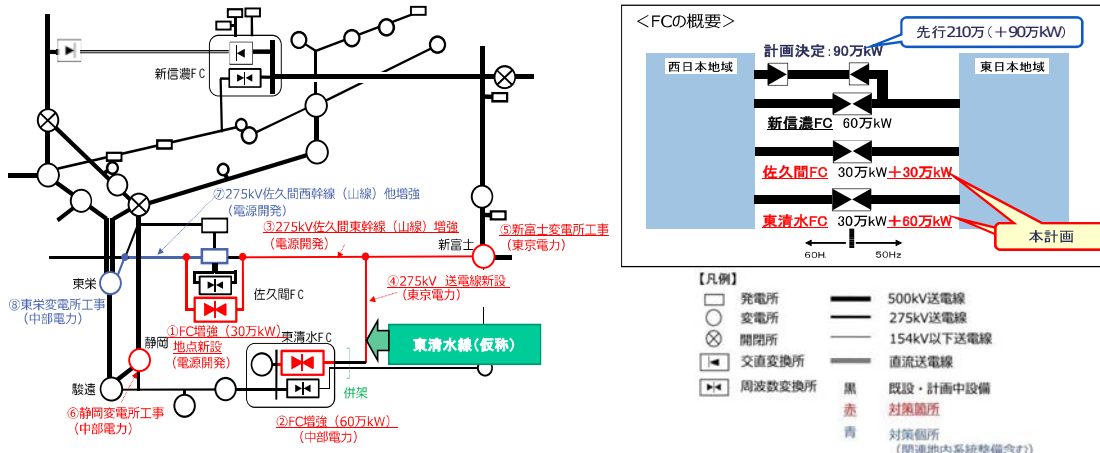
事業の目的

2011年3月の東日本大震災における大規模電源の被災による東日本における供給力不足に対し、西日本の供給余力を十分確認できなかったこと等により、計画停電実施や、電力使用制限令の発令など国民生活に大きな影響を与えました。

このような状況を踏まえ、東京中部間連系設備（FC）増強について社会的要請が高まり、国の委員会等において、増強の目標が結論づけられました。

これを受け、長野方面において210万kW（90万kW増強）までの増強工事が進められているところです。

今回、「東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画」において、FC300万kWまで（90万kW）の増強計画が策定され、東京電力パワーグリッド(株)が事業主体となる送電線新設工事（東清水線（仮称））を進めることとしています。



本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6

4

事業の内容

項目	内容
名称	東清水線(仮称)新設工事業
区間	自:東京電力パワーグリッド(株) 154kV富士川線(静岡県静岡市清水区) 至:電源開発(株) 275kV佐久間東幹線(山梨県南巨摩郡南部町)
電圧・回線数	275kV・2回線
線幅	約12~14m
送電線の亘長	約13km (山梨県側:約4km)
鉄塔平均高さ	約60~80m
鉄塔基数	約24基 (山梨県側:約8基)

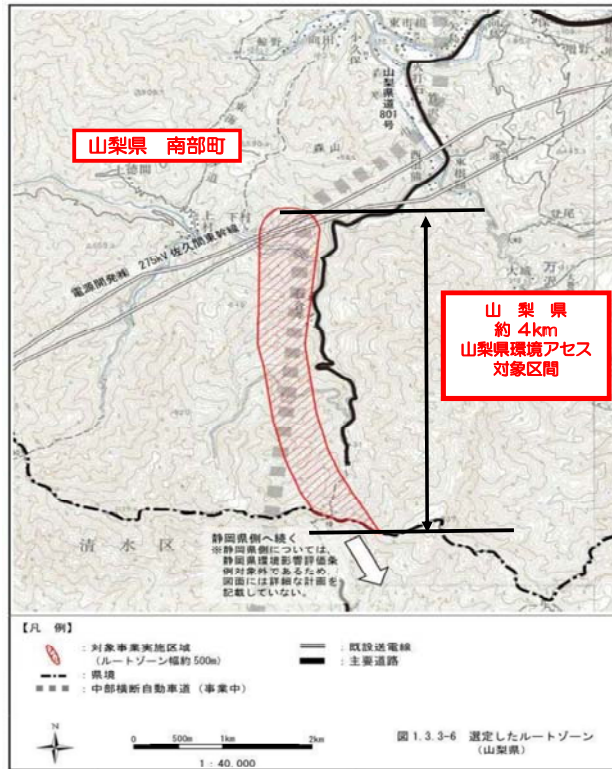
本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 5

今回の工事新設区間①



本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 6

今回の工事新設区間②



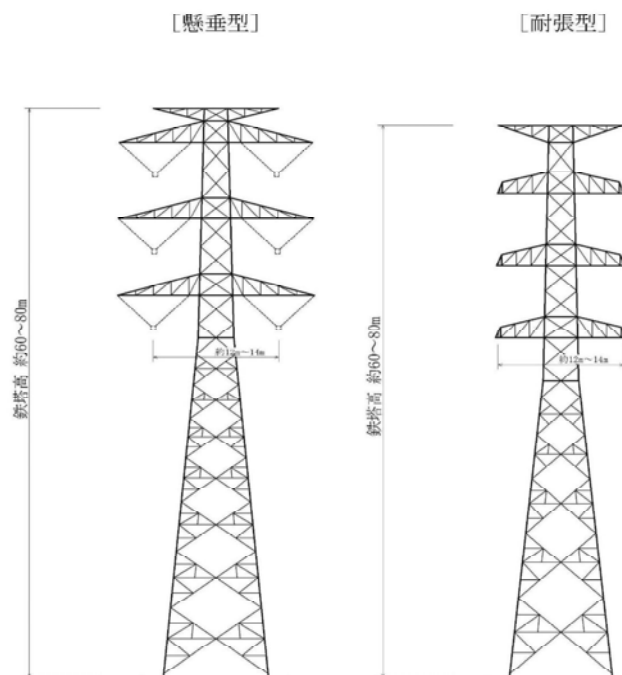
本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 7

東清水線(仮称)新設工事の標準鉄塔形状図

標準鉄塔形状図 縮尺: 1/400

【鉄塔平均高さ】
約60~80m

【線幅】
約12~14m



本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 8

基本ルートを選定

(1) 基本ルートを選定の考え方

① 自然環境と調和がとれること

- ・自然公園、名勝地などの自然景観を損なわない
- ・貴重な動植物の生息地を避ける、自然林などの伐採が少ない 等

② 社会環境と調和がとれること

- ・人家及び公共施設、文化財、史跡などを避ける 等

③ 技術的に調和がとれること

- ・施工・保守が容易、設備の安全性、工期確保、建設費が低廉 等

④ 立地面で問題が少ないこと

- ・地域開発構想との整合、設備・工事用地が確保できること 等

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6

9

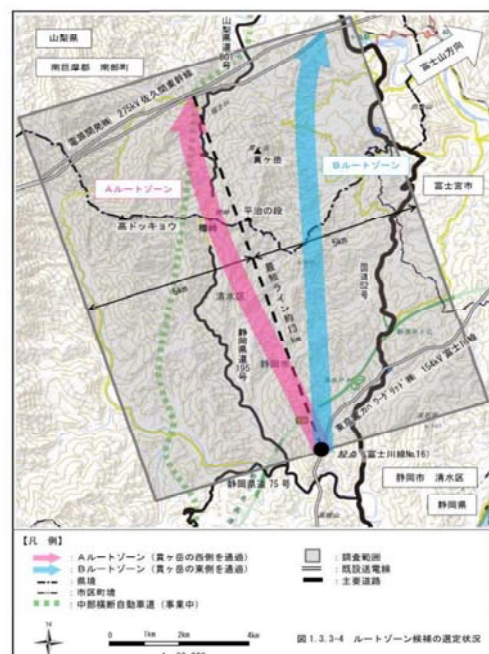
ルートゾーンの選定について

起点と終点を結んだ直線の両側約5kmを調査範囲とし、この中に候補となるA及びBルートゾーンを設定。

この候補ルートゾーンから以下の点を考慮しAルートゾーン(幅500m)を選定した。

- ① 改変規模を最小化するため、起終点を直線で結ぶルートゾーンとなるよう選定した。
- ② 調査範囲の主要道路である国道52号線、山梨県道801号線、静岡県道75号線及び195号線沿いの住居等の密集地を回避し、山側を通過するルートゾーンを選定した。
- ③ 主要な眺望地点(高ドッキョウ、貫ヶ岳など)からの富士山景観への影響に配慮したルートゾーンを選定した。
- ④ 地形・地質に配慮したルートゾーンを選定した。

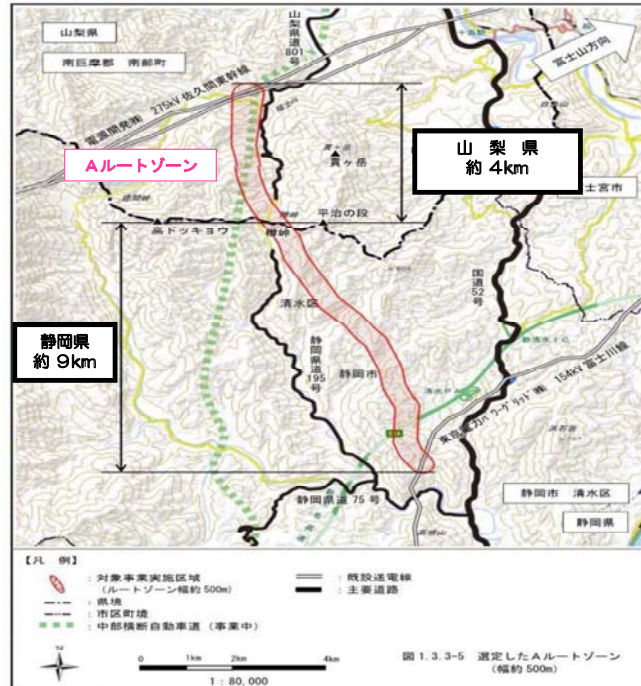
A及びBルートゾーン



本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6

10

選定したAルートゾーン(幅500m)



今後、Aルートゾーンから基本ルートを選定する

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6

11

工事の概要

予定工事工程

工事区分	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
仮設備工事	■				
基礎工事	■				
鉄塔組立工事	■				
架線工事			■		
その他工事					■

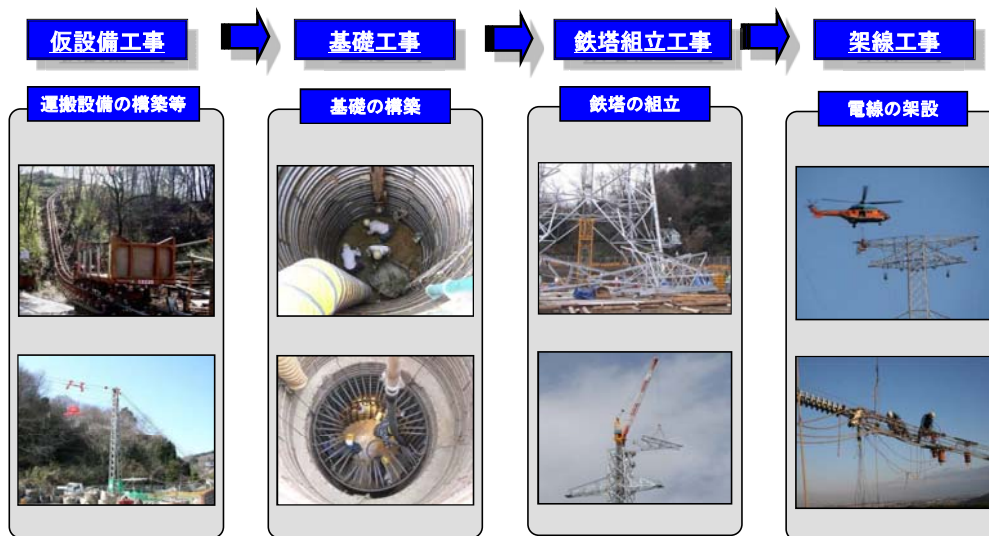
送電線工事の手順

①仮設備工事	伐採、資機材運搬設備の設置、工事用地の区画等
②資機材の運搬	工事に使用する資機材の運搬
③基礎工事	掘削、残土処理、配筋、型枠、コンクリート打設、埋め戻し等
④鉄塔組立工事	重機(クレーン等)による鉄塔の組立等
⑤架線工事	ヘリコプター等による延線、電線、地線延線、がいし取付等
⑥仮設備撤去工事	工事に使用した機材の撤去等
⑦緑化工事	工事用地の植生、植樹等

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6

12

送電線工事の手順

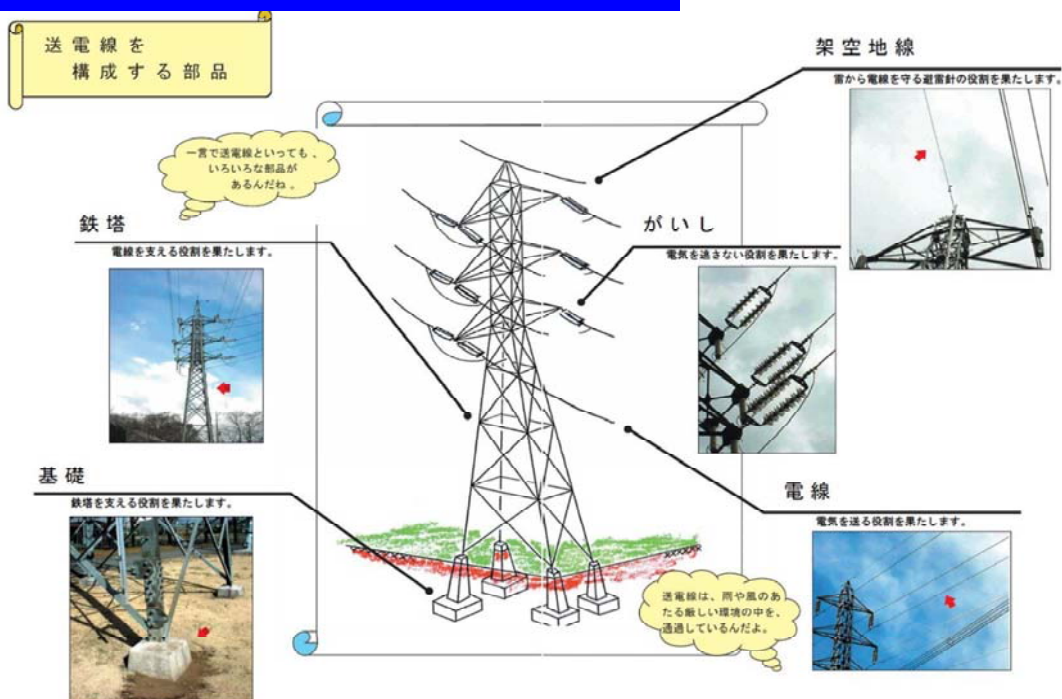


13

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6

送電線工事の例

1. 送電線を構成する物品



本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 14

2. 仮設備工事

◆ 資機材運搬のため用地確保、搬入路・モノレールの仮設、索道の仮設を整備する。



平野部の仮設搬入路(鉄板養生)



モノレールの仮設



山岳地の仮設道路

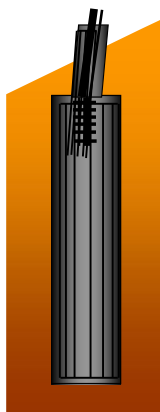


索道の仮設

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 15

3. 基礎工事

◆ 鉄塔の種別や建設場所に応じた基礎を鉄筋コンクリートで構築する。
(例：山岳地の深礎基礎)



山岳地の深礎基礎の構造
(深さ 10~20m程度)



掘削



躯体部の配筋



鉄製支保工の土留



コンクリート打設

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 16

4. 鉄塔組立工事

◆基礎の上部に塔体・腕金を組み立てる。



塔体の組立



腕金の地組

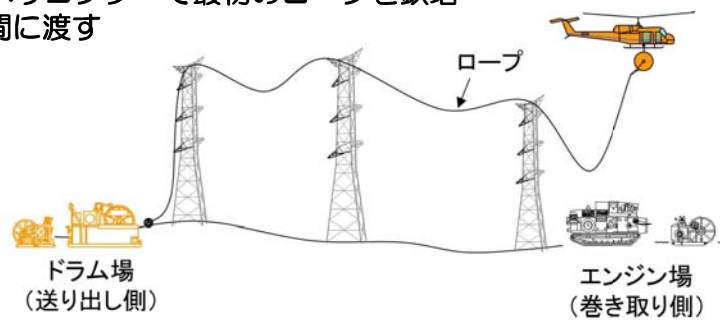


腕金の取り付け

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 17

5. 架線工事

(1) 徒歩やヘリコプターで最初のロープを鉄塔と鉄塔の間に渡す



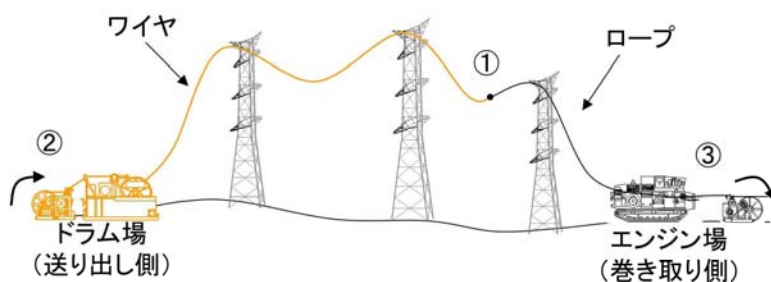
市街地: 線下を徒歩で延線



山岳地: ヘリコプターで延線

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 18

(2) ロープ→ワイヤへ引き替える



- ①ロープの端にワイヤを接続 ⇒ ②ドラム場でワイヤを送り出す ⇒
③エンジン場でロープを巻き取る。



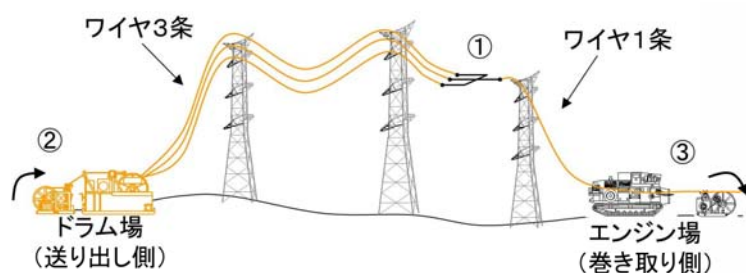
ロープ



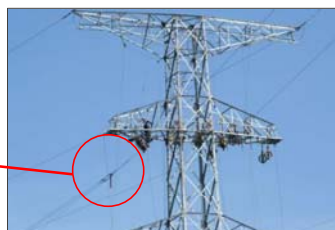
ワイヤ

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 19

(3) ワイヤ1条を3条へ引き替える



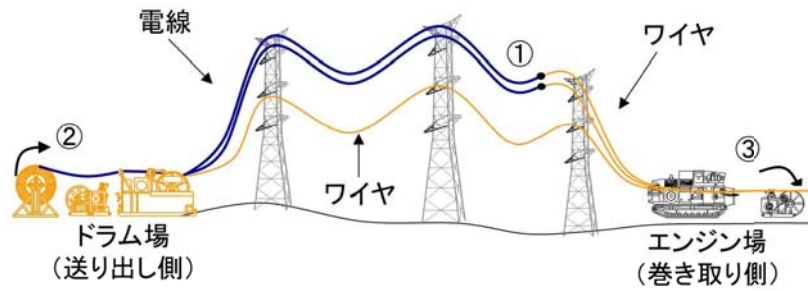
- ①ワイヤ1条の端に3条を接続 ⇒ ②ドラム場でワイヤを送り出す ⇒
③エンジン場でロープを巻き取る。



ワイヤ3条引きの様子

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 20

(4) ワイヤを電線に引き替える

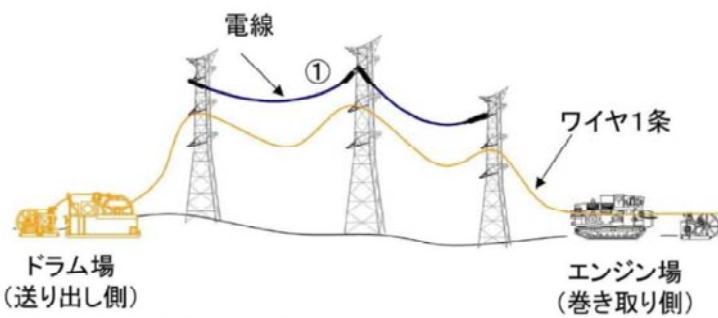


- ①ワイヤ3条のうち2本に電線を接続 ⇒ ②ドラム場で電線を送り出す ⇒
③エンジン場でロープを巻き取る。



本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 21

(5) 電線を鉄塔に取り付ける。



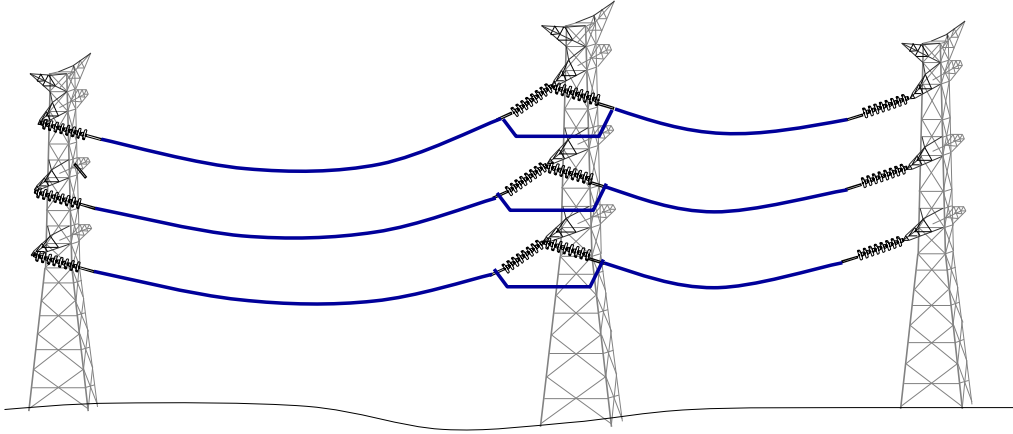
- ①各鉄塔で電線を切って、鉄塔に取り付ける



電線を鉄塔に取り付ける様子

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 22

6. 上から下へ作業を繰り返す。



本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 23

6. 完成状態



本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 24

第2章 地域特性

地域特性を把握する地域

対象事業実施区域及びその周囲の概況を把握する地域は、これまでの送電線工事の環境影響評価の実績を基に、事業実施区域周囲2kmを基準に設定した。

上記の基準により設定した地域特性を把握する地域は、山梨県 南部町です。

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 25

事業実施地域の自然的状況の地域特性 ①

- ①気象 : H20からH29の観測結果
平均風速 1.6m/s、最大風速 南東向き 14.2m/s、
平均気温 15.1℃、平均最高気温 29.9℃、平均最低気温 7.8℃
平均月間降水量 253.1mm
- ②大気汚染 : 浮遊粒子状物質・二酸化窒素・光化学オキシダント・ダイオキシン類
の内光化学オキシダント以外は、環境基準に適合
- ③悪臭 : 調査地域には悪臭の調査記録なし
- ④騒音・振動 : 調査地域には騒音・振動の調査記録なし
- ⑤水象 : 富士川水系の支線の富士川、長瀬沢を横断
- ⑥水質 : 富士川(南部橋)水質測定結果pH、SS、大腸菌群数の一部を除き、環境基準値に適合していた
- ⑦地下水 : 調査地域の1地点の井戸における調査結果は、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の項目で環境基準に適合
- ⑧水底の低質 : 富士川(南部橋)における底質のダイオキシン類の測定結果は、環境基準に適合
- ⑨土壌 : 褐色森林土壌(富沢3統、岳辺田統)、乾性褐色森林土壌(富沢2統)、湿性褐色森林土壌(富沢4統)等が分布
- ⑩地盤沈下 : 調査地域には地下水位観測の調査地点なし

26

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6

事業実施地域の自然的状況の地域特性 ②

- ①地形・地質 : 地形は40度以下の山地斜面が広く分布、一部地すべり分布
地質は、洪積世の礫岩・砂岩及び新第三紀の玄武岩質溶岩などが広く分布
- ②植物 : 133科593種の植物を確認
植生はスギ・ヒノキ・サワラ植生の面積、植生自然度6の植林地の面積が最も多い
天然記念物 : 1件(町指定: 富士根熊池大神社のイチヨウ)
自然記念物 : 2件(西市森の暖帯林・石合のカタヒバ)
特定植物群落 : 3件(県南部の暖地性シダ群落・西市森の暖帯林・県南部のキバナノショウキンラン・キヨスミウツボ)
巨樹・巨木林 : 1件(富士根熊池大神社 イチヨウ)
- ③動物 : 哺乳類: 7目14科 21種(キツネ、タヌキ、ノウサギなど生息)
鳥類: 15目39科 95種(クマタカ、ハヤブサ、ヤマセミなど生息)
爬虫類: 1目 4科 8種(ニホンヤモリ、ニホンカナヘビなど生息)
両性類: 2目 6科 11種(ヒダサンショウウオなど生息)
昆虫類: 10目51科206種(チョウ類の種数が多く生息)
魚類: 7目11科 22種(アブラハヤ、イワナ類、カジカなど生息)
- ④景観・人と自然との触れ合いの場:
景観資源、視点場の状況 : 景観資源: 6件(高ドッキョウ、貫ヶ岳など)
視点場 : 21件(高ドッキョウ、貫ヶ岳など)

27

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6

事業実施地域の社会的状況の地域特性 ③

- ①人口の状況 : 南部町の人口は平成26年から平成30年減少傾向
- ②産業 : 南部町の産業別就業者数は、過去15年の傾向を見ると減少傾向
- ③土地利用 : 南部町は森林面積約88%と殆ど占めている
(その他:約9%、農用地:約3%)
- ④水利用 : 漁業(富士川漁業協同組合)、水道の普及(約98%)、
地下水の利用(年間取水量約74%)、
下水道等の整備(合併処理浄化槽普及率約40%)
- ⑤交通 : 交通量(24H) 国道52号線 8,555台、県道801号線 2,214台、
県道802号線 110台
- ⑥公共施設 : 調査地域には学校、病院、社会福祉施設等の施設は存在しない
- ⑦観光・レクリエーション : 峡南地域の観光客の状況は、概ね増加傾向にある
- ⑧史跡文化財 : 調査地域には史跡文化財の分布なし

【関係法令】

- ①大気質・悪臭・騒音・水質・底質・地下水・土壌 : 環境基準・規制基準の適用有無
- ②景観 : 山梨県景観条例の大規模行為景観形成規準の届出が必要
- ③防災上の地域指定の状況 : 土砂災害警戒区域 17件指定
砂防指定地、地すべり防止区域の指定なし
- ④自然関連法令等による指定の状況
: 自然環境保全区域・自然公園・鳥獣保護区などの指定無し
: 国有林・風致地区・特別緑地保全地区の指定無し

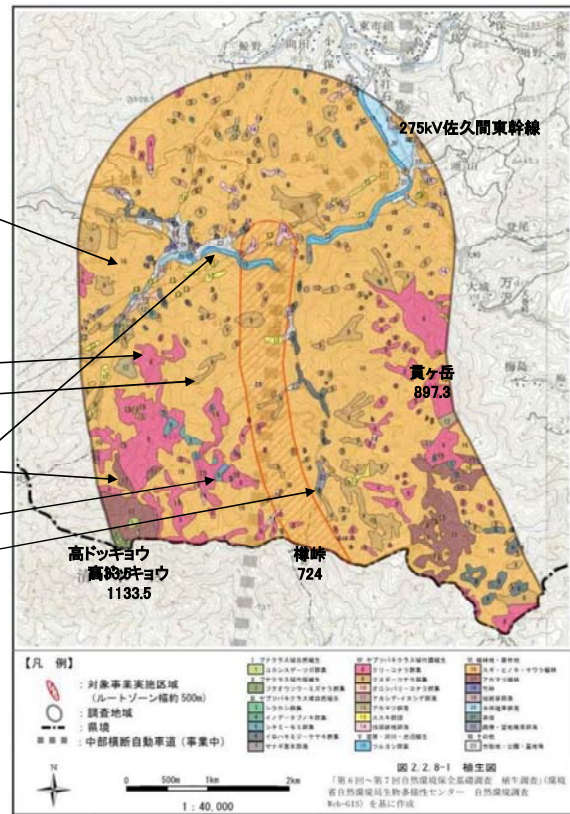
28

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6

植生図

【植生の状況】

- スギ・ヒノキ・サワラ植林の面積が最も多く、対象事業実施区域においても最も多くの面積を占めている。
- その他の植生では、クリーコナラ群集やクヌギコナラ群集、アカマツ植林がややまとまった面積で見られる。
- シキミーモミ群集やイロハモミジ、ケヤキ群集等が点在し、河川周辺にはツルヨシ群集が連続性を持って分布する。

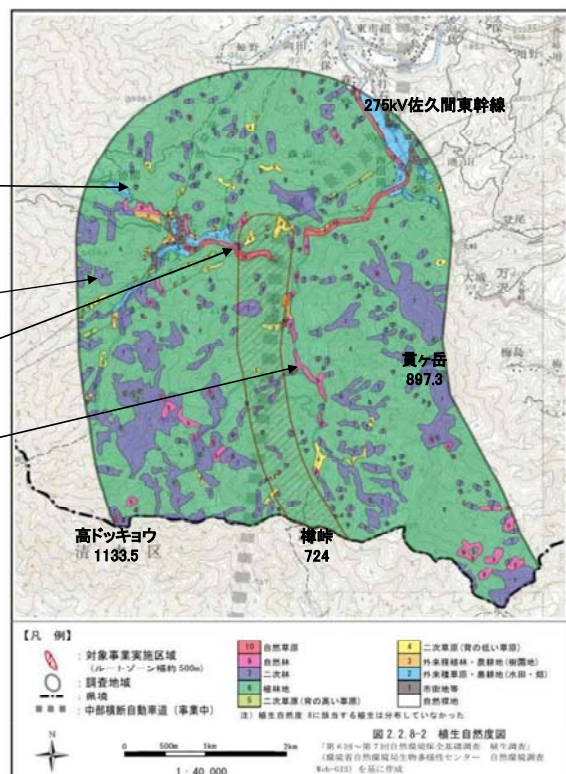


本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 29

植生自然度図

【植生自然度の状況】

- 植生自然度6の植林地の面積が最も多く、対象事業実施区域においても最も多くの面積を占める。
- 植生自然度7の二次林もまとまった面積で見られる。
- 植生自然度10の自然草原や9の自然林は、主に河川沿いに連続性を持って分布する。



本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 30

工事用地周辺に生育する貴重な植物

富士根熊池大神社のイチヨウ



石合のカタヒバ



町指定

天然記念物:植物
自然環境基礎調査
巨樹・巨木

自然記念物:植物

西市森の暖帯林



自然記念物:植物

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6

31

工事区域周辺に生息する貴重な動物

クマタカ

(タカ科)



山梨県の動物レッドデータブック

絶滅危惧IB類

ハヤブサ

(ハヤブサ科)



山梨県の動物レッドデータブック

絶滅危惧II類

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6

32

第3章 環境影響要因及び環境要素の抽出

区分	環境影響要因
工事による影響	・建設機械の稼働及び工事車両の走行により、大気汚染物質、騒音、低周波音、振動が発生する。
	・工事敷地から周辺河川への雨水の流入により、水質汚濁が発生する。
	・樹木の伐採、土地の改変により、陸上植物への影響を与えるおそれがある。
	・樹木の伐採、土地の改変、建設機械の稼働及び工事車両の走行により陸上動物、生態系への影響を与えるおそれがある。
	・工事敷地から周辺河川への雨水の流入により、水質汚濁が発生し、水生生物の生息環境への影響を与えるおそれがある。
	・基礎の掘削により、残土の発生する
存在・供用による影響	・送電線の存在により、景観・風景が変化する。

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 33

第4章 環境影響評価を行う項目

区分	評価項目	
工事による影響	△	大気質
	△	騒音・振動・低周波音
	△	水質・地下水の水質・水底の底質
	△	水生生物
	○	陸上植物・動物
	○	生態系
	△	廃棄物・発生土
存在・供用による影響	○	景観・風景

【項目選定結果の表示】

◎: 環境影響評価を詳細に行う項目

○: 環境影響評価を標準的に行う項目

□: 環境影響評価項目を簡略化して行う項目

△: 一般的な環境保全対策で対応する項目

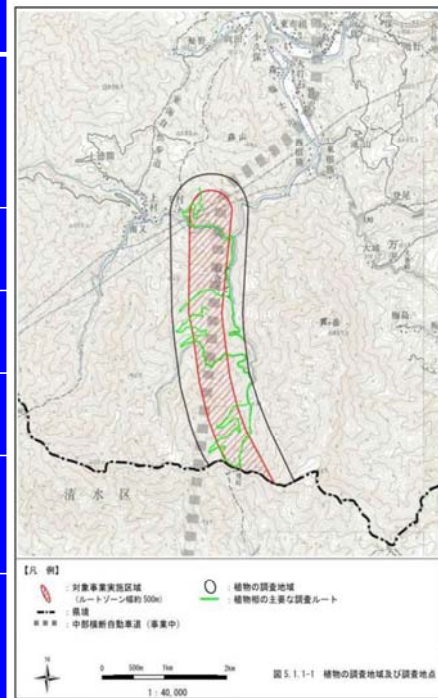
本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 34

第5章 環境影響評価の手法

①陸上植物

手法	項目	内容
調査手法	調査項目	・植物相の状況 ・植生の状況 ・保全すべき植物種及び植物群落の状況
	調査方法	・現地踏査、空中写真判読等により植物、植生を確認する
	調査地域・地点	・事業実施区域の中心から片側500mの範囲(右図参照)
	調査期間	・植物相:春・夏・秋;3回 ・植生:夏・秋;2回
予測手法	予測方法	・陸上植物の生育環境と事業計画を重ね合わせることで、定量的に予測する
評価手法		・事業による影響ができる限り配慮(回避、最小化、代償)されているかどうかを評価する

陸上植物の調査地域

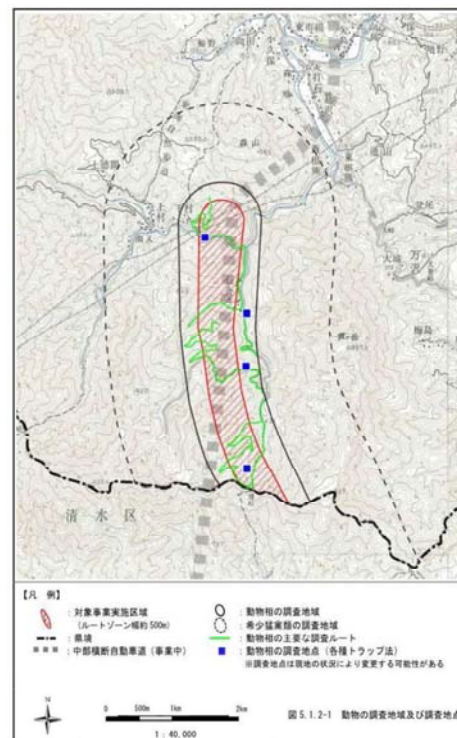


本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することはご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 35

②陸上動物

手法	項目	内容
調査手法	調査事項	・動物相の状況 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類の状況 ・保全すべき動物の状況
	調査方法	・目撃法、ラインセンサス法、任意観察、任意踏査、任意採集等
	調査地域・地点	・動物相:事業中心から片側500mの範囲 ・希少猛禽類:事業中心から片側1.5kmの範囲
	調査期間	・各種類:春・夏・秋・冬の適時期 3~4回調査 ・希少猛禽類:繁殖期 2~6回調査
予測手法	予測方法	・陸上動物の生育環境と事業計画を重ね合わせることで、定量的に予測する
評価手法		・事業による影響ができる限り配慮(回避、最小化、代償)されているかどうかを評価する

陸上動物の調査地域



本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することはご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 36

③生態系

手法	項目	内容
調査手法	調査事項	<ul style="list-style-type: none"> 生態系の要素の状況 生態系の機能の状況
	調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 気象、地形・地質、水象、植生、動植物等に係る現地調査及び既存資料調査の結果を整理し、生態系の持つ要素及び機能について現況を把握する
	調査地域・地点	<ul style="list-style-type: none"> 陸上植物及び陸上動物の調査地域と地点と同じ
	調査期間	<ul style="list-style-type: none"> 陸上植物及び陸上動物の調査期間と同じ
予測手法	予測方法	<ul style="list-style-type: none"> 生態系の重要な要素及び機能に与える影響の程度について、その立地条件や面的な広がり事業計画を重ね合わせるにより、定量的に予測する
評価手法		<ul style="list-style-type: none"> 事業による影響ができる限り配慮(回避、最小化、代償)されているかどうかを評価する

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 37

④景観・風景

手法	項目	内容
調査手法	調査事項	<ul style="list-style-type: none"> 地域の風景の特性 主要な眺望地点の状況
	調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 既存資料の整理・解析及び現地調査により写真撮影を行う
	調査地域・地点	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施により地域の風景、主要な眺望地点に影響する地域 主要な眺望地点(右図参照)
	調査期間	<ul style="list-style-type: none"> 季節変化及び利用状況等を考慮し、夏・秋 2回調査
予測手法	予測方法	<ul style="list-style-type: none"> 既存資料の整理・解析及びフォトモンタージュの作成により予測する
評価手法		<ul style="list-style-type: none"> 事業による影響ができる限り配慮(回避、最小化、代償)されているかどうかを評価する



本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 38

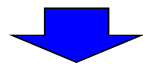
⑤調査スケジュール(予定)

環境影響 評価項目	2019年												2020年											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
陸上植物	植物相																							
	植生																							
哺乳類	哺乳類																							
	鳥類																							
陸上動物	希少猛禽類																							
	爬虫類																							
	両生類																							
	陸上昆虫類																							
	キツネ																							
	生態系																							
	景観・風景																							

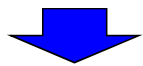
本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6

第6章 対象事業に係る環境影響を受ける範囲と認められる地域

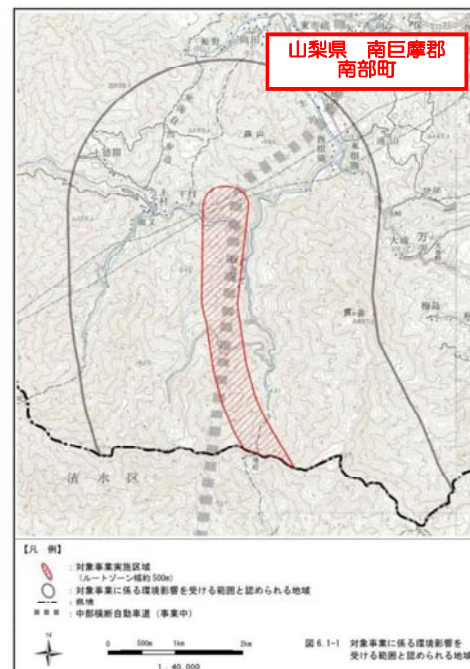
環境要素の中で最も広範囲に影響が及ぶと考えられる景観への影響を考慮



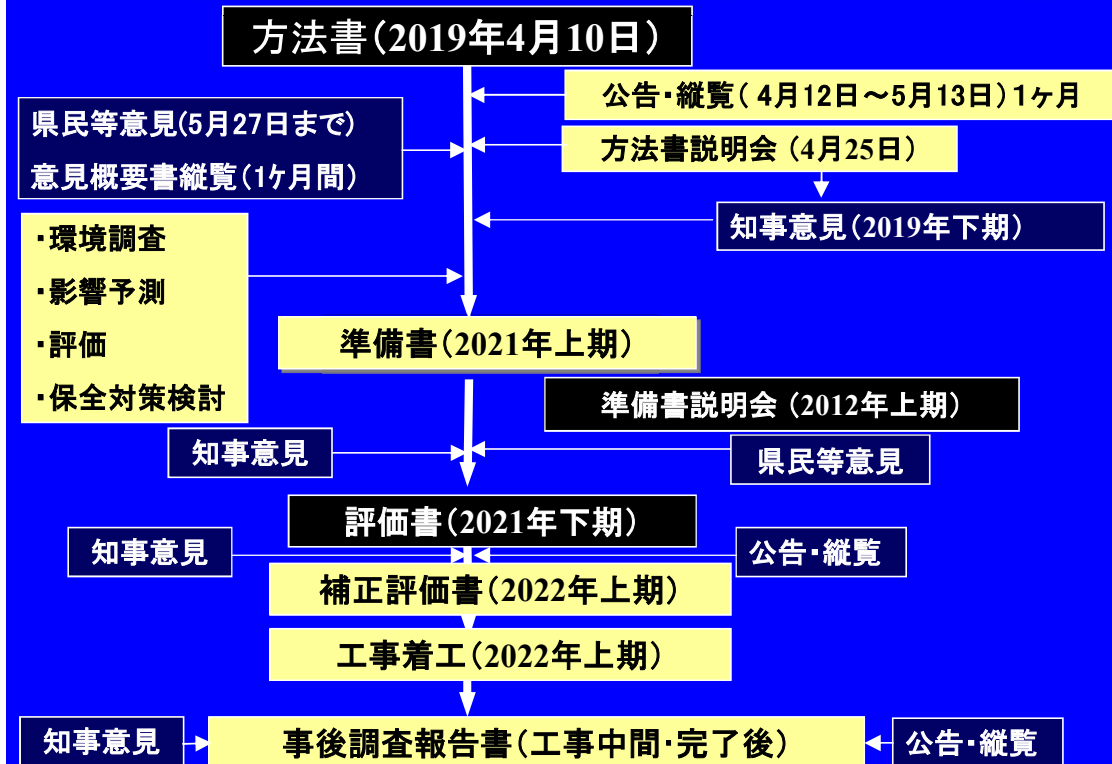
対象事業実施区域を中心とした片側2kmの範囲



管轄する市町村
山梨県 南巨摩郡 南部町



東清水線(仮称)新設工事手続きについて(予定)



本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 41

東清水線(仮称)線新設工事業 環境影響評価方法書の事業概要



ありがとうございました。

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、複製・転載することをご遠慮下さい。東京電力パワーグリッド(株)2019.6 42